

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
加賀市立錦城小学校	まあまあ進んでいる	日常的な使用には至らないが、授業でのICT活用の指標に沿って、教職員の困り感や使いたい機能について聞き取りを行い、ICTサポーターと連携して研修を行っているから	6年国語の授業を想定し、「授業でこんなことをしたい時にはこんな使い方が友好的」とモデルを提示した。		
加賀市立錦城東小学校	まあまあ進んでいる	・低中高で定めた、使用することを目標としていたアプリを使用することがほぼできたため。 ・4.5.6年生は、1日1回はタブレットを使用することができたから。	PCを活用した授業の実践交流	・研究授業の授業整理会をジャムボードを使って行ったことにより、意見が整理しやすく、交流がしやすくなった。 ・校内の児童アンケートを、フォームを使って行ったことにより、集計する担任の負担が減った。	・外国語の宿題として、スピーチ動画を自分で撮影し提出させた。普段はマスクをしているが、動画の時はマスクを外しているの口の動きがはっきりと分かるので、評価しやすかった。 ・家庭科の学習で、手縫いをするときに、玉どめ・玉結びや縫い方の参考資料として、動画をクラスルームに配信した。自分の見たいところを自分で選んでみるので、一人一人に合った進度で活動することができた。
加賀市立三木小学校	まあまあ進んでいる	教師が協力的であること。教師集団が少人数のため、少しの合間の時間でも研修が可能であるため。	ICTサポーターを講師として、教師のニーズに合った研修ができたこと。例えば、高学年の教師にはジャムボードの効果的な使い方を、中学年の先生にはビデオ撮影の仕方を、低学年の先生にはフォームを用いたアンケートの仕方を、全教員に対して指導計画の改修で校務の効率化を図ることができたこと。	PC端末を充電電箱から抜き取り、机の横に配置し、休み時間に自由にドリルやタイピング練習などをさせたことにより、児童のキー入力の技能等が上がった。	6年生の家庭の授業で、考えを出し合い、分類整理する場面の中で、付箋アプリを使った。それにより、児童全員の考えが分かったり、全員で分類整理できたりして、共通の課題を設定することにつながった。
加賀市立三谷小学校	まあまあ進んでいる	先生方が使ってみようという思いがあり、研修に意欲的に参加し授業に進んで活用してくれているから。	ICTサポーターによる授業での活用例の紹介や、ゲーグルアプリの使い方を学び実際に使ってみる研修会		社会科の学習で、ジャムボードを活用し調べた結果を出し合ったり、資料から分かること・言うことを出し合ったりした。児童も考えを発信しやすく、意見の集約や統合がさっとでき、そこから言うことや新たな疑問が生まれることに繋がった。
加賀市立南郷小学校	まあまあ進んでいる		年間計画と学校の月予定を照らし合わせ、研修の日程を組んでいるため	校内研修でChromebookの基本的な使い方、キャストのつなぎ方、クラスルームを授業内での活用方法などの研修。	
加賀市立橋立小学校	まあまあ進んでいる	加賀市教育委員会事務局学校指導課の示す「加賀市一人1台PCの活用ステップアップ」と照らし合わせ、Classroom等の他、スライドやスプレッドシートを使った実践を積み上げていくという目標をおおむね達成しているから。また、PCが一人一台担当されている学年においては、概ね日常的にPCを授業中に使用できていたから。	ICTサポーターの方にClassroomやForm、Jamboardの使い方を講習してもらうことで、苦手意識のある教員も、「使ってみようかな」という気持ちを持つことができた。	chromebookの配当されている3～6年生で各家庭に持ち帰り、meet機能を使った交流を行った。オンラインを使った授業への見通しが持てた。	5年生はスライドを作成して1学期の自己紹介を行った。普段、発言する力が弱い児童の発表でも、効果的な見せ方の工夫をしていたことで、高い意欲でお互いの話を聞くことができていた。視覚的に高い効果があるというICTの良さを、児童も感じているようだった。
加賀市立片山津小学校	まあまあ進んでいる	校内研修をすることで、どの教員もタブレットの活用に関心が高まったから。	具体的なソフトの使い方や実践事例などを紹介した。	全校でタブレットを持ち帰り、家庭学習などに活用させたこと。	4年生社会科の授業でGoogleアプリ「Jamboard」を活用した。タブレット上の付箋に書き込み、共有することでグループでの会話が促進された。また、大型テレビにタブレット画面を投影することで、瞬時に情報共有ができ効果的であった。。
加賀市立金明小学校	まあまあ進んでいる	年間指導計画を4月当初に作成し、学校の予定に組み込んでいるため、計画的に進めることができています。	小学生レベルで使用が容易なJamboardの利用方法の周知	本校では算数の研究を行っている。授業後の板書や授業動画の一部を先生が撮って、授業づくりの時間に共有することで授業イメージの共有がすぐにはかられ、授業改善に寄与した。	6年生の総合学習では夏の全校登校日に向けて平和学習の調べ学習、まとめ、発表までをgoogleスライドにまとめて、プレゼン発表を行った。グループで同時にスライドを共同編集することができるので作業効率が高まり、みんなで作業状態を共有し、発表に向けてより良いものを作るための可視化ができてよかった。
加賀市立湖北小学校	まあまあ進んでいる	全教員がICTを使おうと努力してくれているから。また校内研の整理会などでも積極的に取り入れているから。	職員会議後の実践報告会で、毎月輪番で報告する場を設けています。授業の具体的な場面でどう使用したかを報告し合うことで、効果的な活用法が分かり、全員が「使ってみよう」と思っています。		4年の国語の勉強でアンケートをスプレッドシートを使ってグラフにまとめたことで、資料として見やすく、時間短縮にもつながった。
加賀市立動橋小学校	まあまあ進んでいる	月にICTサポーターが3回来校してくれ、連携して取り組むことができています。	ICTサポーターの方と連携して授業の内容を考えたり、ICT操作の質問を気軽に聞け、その場で教えてもらえる機会があったこと。	全校児童のクラスルームを作り、児童アンケートや避難訓練の振り返りをフォームで取ることで結果がすぐに集計でき分かりやすかった。	5年生の理科の学習において、メダカの誕生の学習を行った実践があった。「メダカの成長に何が必要か」について普段はあまり発言をしない児童もJamboardを使って付箋に考えを書くことを通して様々な意見が出てきて、学び合いがさらに活発になっていた。
加賀市立分校小学校	まあまあ進んでいる	年度途中で、学校の研究発表が入り、そのmeetでの開催に向けて研修を重ねているため。職員の中で「〇〇の研修してほしい」という要望が上がったり、それにこたえて研修しているため。	meetで行う全校集会について、リハーサルを兼ねて、つなぎ方や操作手順を実際に行ってみた取り組み。	教科書の図を資料としてクラスルームに提示したことで、手元に資料がある状態でスムーズに授業を勧められた。	動画提出の機能を使い、音楽のリコーダーの技能を一人一人確実に評価することができた。
加賀市立作見小学校	まあまあ進んでいる	計画と多少ずれたこともあるが、教務主任にお願いして年間行事予定にPC活用講習会を行うことを明記してもらい、職員への周知もできていると感じているため。内容をもう少し精査していきたいが、各教員の負担感がそれほどなく進んでいることに関しては成果ではないかと考えているため。	これまでの実践報告ではなく、これからの使用していく教材やアプリなどの使い方や使い方のポイントなどをざっくりと共有したこと。その中で、児童への伝え方や自分なりの工夫を考えてもらったこと。	児童の健康観察をデジタルで管理したこと。	5年生の国語の授業で、ドキュメントを用いて音声入力を使用して協働編集を行なった。一人一人では思考するのが難しかった内容も、協働することで学びが深まった。PC活用をどの場面に入れるかと言うことについて、協議するきっかけとなった。
加賀市立山代小学校	まあまあ進んでいる	1日2限以上の使用を目指し、取り組んでいる。	クラスルームの活用例（課題の出し方、フォームの活用、スライドの共同編集）	ドロップボックスとipadを使い、資料や写真を共有した。それにより教科書の拡大をすぐにテレビに投影し、授業に生かせたり、会議での資料の配布に役立ったりした。	国語①音読発表を録画し、クラスルームに提出することで評価や児童との共有がしやすかった。②資料や本の一部をクラスルームを使い、児童と共有した。） 社会（児童用のデジタル教科書を使うことで、絵や写真の細かい部分が見やすく、気付くことが増えた。） 学活（クラス会議でチャットやジャムボードを使い、話し合いをした。） その他①スライドを児童分作り、共同編集でクラスルームに投稿し、児童は自分のページに写真を貼った。密にならずに児童間でも作品などを共有することができた。）
加賀市立庄小学校	進んでいる	先生方がICTを積極的に活用しようとしてくれているからだと思います。	授業や授業外でICTをどのように効果的に活用できたかを報告し合う取り組み		
加賀市立東谷口小学校	まあまあ進んでいる	計画に沿って行っているが、計画の変更があったり、遅れることがあったりしたから。	教材と一緒に考えるワークショップ、実践報告会。		2年生の図工で、ジャムボードを使って作品を見せ合って、コメントを付箋に貼っていった。友達作品を自分の机上でゆっくり見たり、コメントを見返したりすることで感想の共有がスムーズに行えた。
加賀市立勅使小学校	進んでいる	本校の全ての先生方の前向きな考えや実践があるからだと思います。	日々の職員室での情報交換です。校内研修や改まった場ではなく、その日にやったことをその日のうちに、具体的に児童の反応等を含めて話すことが一番効果的だと感じます。	ありません。単級の学校で、それぞれの学年や学習内容に応じて活用しています。担任同士で互いに教え合ったり取り入れたりしながら授業実践しています。	6年生の外国語の授業で、自己紹介動画を自分で撮影し、振り返りを行った。すぐに見返すことも、自宅を確認することもできた。
加賀市立山中小学校	まあまあ進んでいる	職員会議の後に行うことで定期的に行うことができています。またオフミーティングで行っているため。	各学年の実践共有。	Meetやストリームなどクラスルームの機能を活用することで、情報共有が子どもともできるようになった。	6年生の授業で、振り返りをスプレッドシートに書いて共有することで、振り返りの書けない子やどのように書けばよいかわからない子の手助けとなった。
加賀市立河南小学校	まあまあ進んでいる	先生方と話す中で、ICTや1人1台PCの活用が増えてきていると感じるから。	Google classroomの活用方法		
小松市立芦城小学校	まあまあ進んでいる	小松市が独自に導入しているソフトウェアの講習があったことで、必然的に職員がGIGAタブレットに触れる機会が増えているため。	近い学年の授業者間で情報交換を行ったことで、参考になる情報や、困った点などを共有することができ、今後の取組への意欲を高めることができた。	特になし	6年生の英語科で、「自分がおすすめる国」をプレゼンテーションでアピールする活動を行った。「自分の思いを相手に伝えるように表現する」というコミュニケーション能力を、自由な試行錯誤の中で向上させる機会となった。
小松市立稚松小学校	まあまあ進んでいる	校内の先生の実態に合わせて研修計画を修正し、月1の研修を実施できた。	プレイグラムタイピング（タイピングソフト）の紹介	3～6年生を対象に15分のタイピング練習を週に1回取り入れる。	小6国語の詩の勉強で、skymenu・みんなの作品機能を使用した。自分が作った詩をタブレットで写真に貼り、お互いの作品を自分のタブレットで鑑賞し合うことができた。友達作品にはコメントも残すことができ、そのコメントを読むことで自己肯定感を高めたり、アドバイスを受けて自分の作品を修正したりする姿が見られた。三密に配慮しながらも、友達との感じ方の違いに目を向けて学びを深めることができた。
小松市立安宅小学校	まあまあ進んでいる	校内研修の実施	スカイメニューの校内研修を行い、授業で使えそうな機能を確認した。	なし（2学期に実施予定）	沖縄の生徒とZOOMでつないでテレビ電話を行うことを単元のゴールに設定することで温かい土地のくらしの授業を主体的に行えた。
小松市立犬丸小学校	まあまあ進んでいる	無理に新しい時間を作るのではなく、今ある研修（研究や若プロ）を活用して短い時間で研修を続けている。分からない人や苦手な人からの聞き取りをして、その人達が取り組みそうなことを紹介している。	1学期にどんなことをタブレットを使ったかを紹介し合う情報交換会。技術的な面でどうしたらいいかわからず、なかなか取り組みない先生の話や、アドバイスをしたり、簡単な使用方法について紹介したりすることができた。	研究授業や模擬授業の中で、ICTが使えるような場面を作り、皆で検討してみた。1学期は「教師が提示する」場面での取り組みを中心に紹介しており、2学期以降の研究授業では「児童がタブレットを使う場面」を紹介してもらう予定。	5年生の体育の授業で「ソフトバレーボール」をした時に、自分のレシーブやサーブの様子をタブレットで撮影し、グループで課題を見つけて話し合った。自分の姿を客観的に捉えることで、友達同士で技術的なアドバイスができるようになった。
小松市立荒屋小学校	まあまあ進んでいる	先生方の意識が高まり、研修に積極的に参加していること。また、使用頻度も高まってきている。	先生役と生徒約二分かれ、実際に授業で取り入れた使い方をやってみる取組		2年生の図工の作品鑑賞で、自分の作品を写真に撮り、特に見てほしい所や力を入れた所にマーキングをしたことで、発表する児童にも聞く児童にも、鑑賞のポイントがはっきりした発表ができるようになってきた。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小松市立第一小学校	まあまあ進んでいる	・毎月、GIGA推進委員会もしくは全体研修会を設定し、GIGAの研修を実施している ・コロナ禍の影響で、計画通り実施できなかった研修がある ・少しずつ実践が進んでいるが、教師個人によって取組状況にやや差が見られる	GIGA推進委員会で各学年の取組を紹介し合う研修がとても参考になる	・Skymenuの「発表ノート」を使って、焦点化した課題を配布したり、児童が書き込んだものを一斉に回収したりする	・Skymenuの発表ノートに書き込んだ各自の考えを一人一人のタブレット端末に送信し、説明し合った ・国語の授業で、友達に自分が調べたことを発表する学習において、撮った写真にコメントをつけた資料を作成し、プレゼンを行った ・国語のローマ字の学習と並行して、タブレット端末でタイピング練習を行った ・体育の鉄棒でお手本となる動画を見ながら、各自が練習に取り組んだ
小松市立苗代小学校	まあまあ進んでいる	既存の会議やその他の活動もあり、すべてが円滑に行えているわけではないが、適宜活動を行うことができているから。	実践の紹介		
小松市立蓮代寺小学校	進んでいる	「ICTを活用した学びの推進協力校」として、公開授業での講師招聘や他校との交流会を実施し、職員同士のコミュニケーションを通じて実践を重ねることができたため。	本校は単級の学校なので近隣の単級の小学校と同じ学年同士で実践交流ができたこと。	授業実践記録を教科、使用場面、使用内容など項目ごとに入力していくことで、実践を共有することができた。	音楽の授業で歌声やリコーダー演奏、外国語でのスピーチを一人ひとりが自分のタブレットでビデオ録画して動画を教師に提出させた。それにより、自分の歌声や演奏など確認して表現を工夫することができ、教師は一人ひとりの評価をすることができた。
小松市立向本折小学校	あまり進んでいない	先生方の予定が詰まっていて、研修を持つ時間が確保できない。	低・中・高部会に分けて、成果と課題を発表する全体会では意見が活発に交換され、具体的な活用事例が共有できた。2学期に向け、さらに積極的にタブレットを活用していくという意識が高まる会となった。	タイピング練習のためのサイトやソフトを使えるようにした。隙間時間に、タブレットに触れる機会が増え、タイピング能力の向上が見られた。	4年生の算数の授業で、平行四辺形やひし形の敷き詰めをタブレットを利用して行った。図形を準備する手間や、ノートに貼りつける手間がなくなり、数学的な活動に対する時間が十分に確保された。また、試行錯誤しながら操作でき、数も好きなだけ使えるので、児童からは様々な敷き詰め方が出てきて、図形の美しさや面白さにも気づくことができた。
小松市立今江小学校	まあまあ進んでいる	全員集まる時間が取りずらく、自由参加のミニ研修となることがある。	実技教科における評価に関する研修。	主に、道徳や国語などの教科の板書を写真に撮り、共有し蓄積している。	図工での作品に対するコメント。体育での動画比較。書写での画像比較。社会科におけるアンダーラインや資料提示。
小松市立串小中学校	進んでいる	①GIGA校内研修推進リーダーを二人体制にし、互いに協力・連携して校内研修を推進できたから。 ②教員総合研修センターや小松市研修会の効果的な活用、職員の要望に応える研修の企画及び若プロ担当との連携などを確実に進めたから。	SKYMENUの機能紹介。発表ノートや投票機能の、具体的な使用場面を知ることができた。	①1学期の取組目標を決め、職員によびかけたことで、「発表ノート」「検索機能」「カメラ機能」を中心にたくさんの活用が見られた。 ②学期末に学年でタブレット活用についてふりかえり、職員全体で共有した。それによって、他の学年の活用場面を知ることができた。	5年生の国語の授業で、校内で撮影した写真をwordに貼り付け、報告分を作成する活動を行った。写真を自由に配置することで、注目させたい場所を意識して作成することができた。
小松市立日末小学校	まあまあ進んでいる	少人数校であり教員の足並みがそろいやすいため	PCの堪能な先生による「PCの便利な使い方講座」でショートカットキーなどPCの効率的な操作方法の紹介	AI型の学習アプリQubenaの活用 タイピング練習	5年算数面積の授業で、skymenuの発表ノートを用いて、自分の考えを図にかき込み全員で見合うことで、全員の考えを一気に比べられた
小松市立符津小学校	まあまあ進んでいる	自分たちの研修計画を立ててはいるが、市での研修（SkyMENU, Qubena）を代用している。計画通りではないが、研修者が多くならないようにし進んでいる。	NHKFroSchoolの活用の仕方	教え合い活動。タブレット操作に不慣れな1年生や2年生に5・6年生が教えに行ったことで興味をもって、低学年が活動することができている。	5年生国語科「日常を17音で（光村）」では、発表ノート（SkyMENU.）で俳句を書いた。学習で順番を変えたり、直接的な表現ではなく比喻を取り入れること学び自分の俳句を見直した。ノートでは移動ができないが、PC上では簡単に移動できた。書き換えたりができるので、いろいろと試すことができていた。
小松市立栗津小学校	まあまあ進んでいる	先生方の困り感に合わせての研修を設定しているため、1回1回の校内研修が大変必要感のあるものとなっており、協力して下さる先生方も多いため。しかし、先生方の要望や困り感に合わせて、頻りに研修を行っていない現状があるので、今学期は担当の者と話し合い、効果的なタイミングで必要な校内研修を行っていきたくと考えている。	タブレット端末を活用した授業や模擬授業への参観。具体的な使い方や、実際にタブレット端末を使う様子を見ることができ、よかった点や改善点、他学年でも活用できそうな機能などを交流することができた。	職員全体で1学期は、タブレット端末の「可視化機能」（カメラ・QRコード・モニター提示等）を中心に扱うことを共通実践として取り組んだ。タブレット端末の機能を何となく使うといった抽象的な活用方法ではなく、「可視化機能」に絞ったことで、目標をはっきりとし、実践しやすかったという声が多かった。	4年生の「垂直・平行と四角形」の単元で、自分たちのかいた平行四辺形や台形、その他の四角形を仲間分けする適用問題で、かいた図形をデータとして取り込んでおき、発表ノート内で仲間分けを行った。紙媒体ではないのでタブレット内で直感的に仲間分けができ、クラス人数分の四角形があるにも関わらず、紙のように散らかることなく、十分な練習量を確保することができた。その後、発表ノートを提出してもらい、教師用タブレットで正答率等の実態を確認することができた。どの実践でも、タブレット端末を使うことを目的とせず、「目標達成のためのタブレット活用」を意識し、実践を進めていった。
小松市立木場小学校	まあまあ進んでいる	計画通り進めることができた。	体験を交えた実践紹介	授業者の実践記録	5年社会科で、新聞作りの代わりにタブレットを用いてプレゼンを作った
小松市立矢田野小学校	あまり進んでいない	放課後の会が多く研修が入れられない現状があったことが大きい。	スカイメニューの機能の紹介 簡単に使える、すぐ試せるという点	・全学年で、毎時間の振り返りや成果物を拡大投影してクラスの児童に共有することで、視覚的に分かりやすくなった。 ・高学年で、総合的な学習の時間のプレゼンテーションを「プレゼン機能」を用いて発表した。それによって、視覚的に分かりやすくなっただけでなく、文章を端的にまとめたり、必要な資料を集めたりする力がついた。	・体育「マット運動」で自分の演技をしている姿をタブレットで動画撮影し、グループで交流し合うことで、自分の動きを確認ができ修正につながった。 ・5年生の国語で時間のかかる人物相関図を、タブレットを用いて作成した。それによって、教材文で読み取ったことをもとにできるだけ分かりやすく整理された相関図を書くことができた。（修正が簡単） ・1年生で算数「どきどきがっこう」で発表ノートを使い、仲間を助けて困る、どちらが多いか線でつなぐなどした。それにより、どのようにして問題を解決していくのかを提示し共通理解することができた。
小松市立月津小学校	まあまあ進んでいる	1学期は、部会での話し合いは計画通り進んでいるが、全体でOJTをする機会がなかなかとれなかった。2学期からは、職員会議の後の時間を使って、授業での活用方法を紹介することになった。進んでいるが、内容が少し変わった。	SKYMENUを使った児童の作品のやりとりの方法を、市のICTインストラクターの先生に教えて頂いたこと。	効果的なタイピングの練習ソフトを共有することができ、ブレインドタッチに真剣に挑戦する姿が見られた。	6年歴史の学習で、資料に印をつけて全児童に画面共有をしながら発表できるのが、発表内容の共有に役立った。
小松市立那谷小学校	まあまあ進んでいる	大きな取り組みは行っていないが、小松市の研修から学んだことを生かし、各学級で児童の実態に合わせた指導が行えているように思えるから。	実践を共有したこと。実践を紹介することで、使ったソフトや児童の様子を知ることができ、利用の幅が広がった。	全校児童が集まってグループごとにタブレットを使っているクイズ大会を行った。グループで行うことで上級生が下級生に使い方を行う場面が見られた。アプリで他のグループの解答を大型モニターに映し見られることや即時正答数を集計することで楽しみながらタブレットに親しむことができた。	5年生の国語でインタビューで分かったことをまとめる学習をタブレットを利用して行った。まとめて発表するのにパワーポイントを用いたことで、意欲的に行ったことや、短い言葉で相手に伝わりやすくとまとめることにつながった。またインタビューでは聞く人が興味を持てる情報を聞き出そうと質問を工夫していた。
小松市立国府小学校	まあまあ進んでいる	日々の業務の中で、必要感に応じた研修を精選して行っている。	部会に分かれた少人数による実践事例交流会を行った。	児童がPC端末でカメラ機能や発表機能を活用し、考えを発表することを共通の目標とした。	教材提示支援（投影）や画面転送（教員画面を学習機へ送信）の活用が、指導の効率化や児童の学びの深まりにつながった。
小松市立中海小学校	まあまあ進んでいる	校内や他校と実践交流をし、いろいろな使い道を試行錯誤しているから。	実践交流		5、6年の外国語の授業で、最後のスピーチの前に自分で撮影しながらスピーチを練習した。それにより声の大きさやジェスチャーなどを改善しながらよりよい発表になることにつながった。
小松市立東陵小学校	まあまあ進んでいる	職員会議後に毎回実践を報告する場を設けたり、校内研修会を設定したりしているため。	実践交流会、講師を招聘して算数におけるICT実践を学んだ、推進校へ赴いての研修	毎朝の朝学習でタイピング練習を全校で行ったことで、タイピング速度が上がった。国語の感想交流時の仕方を統一し、実践し始めている。	4年生の国語の授業で、書く活動の推敲場面でアプリケーション「みんなの作品」を使用し、付箋を貼り効果的なグループワークを行った。
小松市立能美小学校	まあまあ進んでいる	若手がベテランにタブレットの使い方を教え、ベテランが若手に授業での活用方法を提案するなど、全員でタブレット活用をしていこうとしているから。	タブレットを用いた他のクラスの授業実践を見に行き、意見交流を行った。その結果、自分たちの授業にもタブレットを用いる見通し（イメージ）を持つことができ、タブレットを用いた授業実践をすることができた。	級外の先生が教材を作り、担任に教材共有することで担任の教材準備の負担が軽減している。	5年生の道徳で「ポジショニング」機能を用いることにより、リアルタイムに全員の気持ちや思いの変化が確認・共有でき、学習者の考えの「ゆらぎ」「変化」を可視化でき、いつ・誰が・どこで・どれだけ変化したのかわかるようになった。またコメントに使われている言葉をランキング形式で抽出してクラス全体の意見の傾向を分析できた。
能美市立浜小学校	まあまあ進んでいる	先生方が自主的に教え合う姿が見られるようになってきて、それに感動したからです。	児童の立場で体験してもらい、その後教師側の立場で実際に教材づくりや操作などを体験してもらおう。そして互いの作品を見合せて交流する。この形がおそらく一番効率的。逆に講義形式は非効率。	連絡帳や児童への連絡（朝の会・委員会・クラブなど）を端末で行い、日常的な活動とつなげて活用した。健康観察、出欠確認のデジタル化で校内の連絡が効率化された。学級だよりを電子化し、保護者に好評だった。	5年生の国語の授業で報告文を書く活動を端末を使って行い、文章の推敲が効率化されたことで時間的余裕が生まれ、より内容が伝わりやすい文章を書くことができた。（資料として画像を貼るなどの編集も端末のみでできた。）その形式をそれぞれが保存しているため、総合的な学習のレポートとしても活用できた。児童が撮影した動画（音楽のテストや図画工作の作品紹介など）を教師に提出して皆で共有する活動を行った。歌唱テストや作品鑑賞などを一斉に行うことができることで時短につながり、結果として時間当たりの質が高まった。また、児童がよりよいものを目指して動画を見直したり撮影し直したりして、熱心に練習する姿が見られた。緊張せず失敗してもやり直せる点が、児童にも好評で合った。
能美市立福岡小学校	まあまあ進んでいる	学校全体で組織的に動くことができおり、ICTサポーターの方のご協力頂く機会が多く、他校の先生方とも交流があるから。	校内及び他校との実践交流（動画で課題提出する方法やミライシードを使った実践を体験するなど）	各クラスの意見を集約するときには、一枚のスプレッドシートに書き込むことにした。それによって紙を回収したり、集約したものをまた配布したりという手間が省けた。	5年生の学活の授業で、ジャムボードを使って学級目標づくりを行った。グループごとに自分たちの意見を分類したり、発表の際には手元で他のグループの意見を確認できたりしたので、わかりやすく他者に伝えることにつながった。
能美市立寺井小学校	まあまあ進んでいる	研修を進めて、実践をしてもらっているが、前記学校アンケート結果によると、活用率が70%程度にとどまっているため。	GoogleのFormsの研修。2学期の学習の教材研究とあわせて、その単元の活用問題をFormで作成する時間とした。教材研究の時間を確保でき、「先生方がスキルを身につける」「児童にも活用問題として還元される」ということを1時間の研修で盛り込むことができた。	・健康観察と出席簿をあわせたデータをスプレッドシートで作成し、Chrome bookで共有した。先生方が一斉に朝の子どもの様子を入力することで一元管理することができた。 ・共有ドライブに各学年のフォルダ、また学校全体で活用するフォルダを作成した。教材等は各学年のフォルダに保存。職員会議や校内研修のフォルダにはそれぞれの資料PDFを保存。教材や会議等のペーパーレス化を着実に進めることができた。	5年生算数科「合同な図形」多角形の内角の和を求める学習。ジャムボードに六角形・七角形・八角形の画像を背景として挿入。子どもたち一人ひとりのボードを準備し、補助線を引いたり、式を書いたりと考え方を記入させた。自分と似た考え方をしている友だちをすぐに見つけることができた。またその友だちのところへ行き、どのように説明したらよいかの相談もスムーズに行うことができた。この他にも、自分のChrome book 1台で全員の考えを見ることができるので、子ども同士で短時間で考えの共有を図ることができた。加えて、教師も子どもたちの考えを一斉にチェックしやすくなった。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
能美市立粟生小学校	まあまあ進んでいる	活用という面では、研究は進んでいるが、教科・領域の目標達成につながる効果的な活用という面が今後の課題である。	職員打ち合わせ後の学年別の実践交流、職員打ち合わせ後のミニOJT（ジャムボードアプリの活用方法など）、各教科における効果的なICT活用場面についての協議	週2回の実践報告。Googleサイトアプリを用いて、教員リンク集と児童リンク集を作成した。オンライン訓練として、各学級で児童、教員ともにMeetの接続方法を確認した。	特別支援学級の国語の授業、手書きで書くことの代替として、スライドアプリに入力を行った。挿絵を背景として挿入していたため、視覚的支援も同時に行うことができた。 1年生生活科の授業、植物の観察にカメラアプリを活用。 2年生図工の授業、作品をミライシード内のオクリンクというアプリを使って鑑賞。 3年生の総合的な学習の時間、Google Earthアプリを用いて校外学習見学先付近の下見を行った。実際に行くことが難しい場所でも、空間や時間的制限を超えることができる。 4年生の国語の授業、同音異義語を探す場面でジャムボードアプリで意見を出し合った。自分一人では気づくことの難しかった同音異義語を見つけることができた。 5年生の家庭科の授業、ジャムボードアプリを用いて調理器具の分類を行った、器具の用途に着目させることができた。 6年生、委員会やクラブでの連絡にクラスルームアプリを活用。
能美市立湯野小学校	まあまあ進んでいる	計画的に研修を行っているから	職員全員で端末をさわって、アプリ操作（formやジャムボードなど）の確認を行った研修		6年生の社会科歴史の授業で単元のまとめをスライドで作成した。単元が終わるごとにスライドを足していくので、学習のつながりが確認しやすくなった。
能美市立辰口中央小学校	進んでいる	チーム力、すぐに使える研修内容	外部講師 村井教授（北陸学院大）を招聘し効果的なICT活用場面の研修	学校全体でAIドリル取組日を設定し、検証として検定日を設けている。それによって、効果的なICT活用が進んだ。	6年生の家庭科の授業「朝食コンテスト」で、ミライシードを用いて紹介し、プレゼン能力の育成、相互評価を行った。
能美市立宮竹小学校	進んでいる	先生方がとても協力的に参加・実践して下さること。	Googleサイトの作り方・使い方を学び、実際につくってみる研修		6年生の国語の授業で、提案文を推敲する授業の中で、ドキュメントで友達とリアルタイムに相談・修正等を行い、文章を練り上げることができた。
能美市立和氣小学校	まあまあ進んでいる	各学年の実態に応じて、端末を活用した授業が進んでいるため	授業における活用の実践交流	毎週の終礼時に、一週間分の端末活用事例を付箋で出し合い、文書交流する。	（6年）単元の振り返りなどを、ドキュメントで入力させることで、児童は自然と自分の文章を推敲するようになり、文章量も増えたような気がします。
川北町立川北小学校	まあまあ進んでいる	教職員間で情報を共有することはできているが、実践を実際に見て交流するなど、さらに深める取り組みを充実させていきたいと考えているから。	1学期後にクロームブック活用についての取り組みを集約し、教職員で情報交流することで、2学期でのさらなる活用への意識付けにつながった。また、職員室において授業への活用の仕方やクロームブックの使い方に関する話をする機会が増えた。	川北町の小中4校において、定期的に部会を開き情報を交流してきた。3つの小学校から1つの中学校へと進学していくため、系統表を作成し、3小学校での活用能力をできる限りそろえることができるように常に連絡をとっている。また、校内では、全教職員が必須となっている動画視聴を研修として時間を確保し行ったほか、ICT支援員によるミライシードの活用に関する研修を定期的に行うことで、理解を深めてきた。	5年生の算数の授業で、多角形の内角の和の求め方をムーブノートを使って児童それぞれに求めさせ、その説明をテレビに映して行わせた。児童が意欲的に取り組み、理解を深めることにつながった。
川北町立橋小学校	まあまあ進んでいる	使っている学年や教員が増えたから。	ミライシードの使い方、模擬授業	校内アンケートの実施	社会科や総合的な学習などで、グループでたくさんの方の考えを出し合い、その考えを整理したり分類したりした。その結果、児童の思考が整理された。
川北町立中島小学校	まあまあ進んでいる	ICTサポーターと連携をとったり、日程調整をして研修を入れたりしている。しかし、業務や会議が多く、校内研修を入れる時間がないこともある。	ミライシードの使い方をICTサポーターから教えていただいたこと。	適用を終えた児童は、ドリルパークを使っている。それにより、学習の定着につながっている。	3年生の総合的な学習の時間で、地域のお店を見学し、わかったことや教えてもらったことをジャムボードに整理し、それをもとにグループでスライドにまとめた。それにより、情報の整理する力を身に付けられ、また、知識を可視化することにつながった。
白山市立松任小学校	まあまあ進んでいる	予定していた講師を招待しての研修以外予定通りに計画が進んでいるため	TeamsやForms等の機能紹介、実践例紹介	学年会での活用紹介	6年生社会科で弥生時代と縄文時代の生活の比較を図に直接書き込み説明すること。説明での根拠に繋がり、説明も容易にできる面があった。
白山市立東明小学校	あまり進んでいない	環境整備に手いっぱい、端末の活用まで進めていないから	ICTサポーターによる研修で、オンライン会議のしかたなど基本的なTeamsの使い方や、授業で使えるようなおすすめのアプリを教してもらった	職員会議をTeamsで行ったことで、密にならずに会議をすることができた	3年生の町探検で、1人1人が町の様子をタブレットで撮ったことで、学校に帰ったときにどんな様子かを交流しやすくなった。
白山市立北陽小学校	まあまあ進んでいる	研修自体は計画通りに行っているが、授業者からの実践報告が少ないため。	職員を対象とした夏季研修で、1学期の授業実践の発表をもとに、学年団で2学期に向けて話し合う場を設けた。効果的な取り組みに対しての共通理解が進み、2学期の授業に向けて各教員の実践意欲が高まった。	児童が一人一台端末を使用する際のルールや、学習を効果的に進める上でおすすめのアプリをまとめた指示を作成し、全学級に配付した。それによって、児童の視覚的理解を促したり、指導の共通化を図ったりすることができた。	4年生の総合の手話体験の授業。自分が手話をしている動画をそれぞれ撮影し、skymenuクラウドを用いて全員が動画を見られるようにした。そして、手話が表している内容を当てるクイズを学級全体で行った。それにより、児童の手話に対する気付きを促したり、学びを深めることにつながった。
白山市立旭丘小学校	まあまあ進んでいる	校内での情報共有	ICTサポーターに協力していただき、タブレット活用した授業例を演習したこと。		
白山市立蕪城小学校	まあまあ進んでいる	全職員の意識が高まっているから。	SKYMENUの使用法		ポジションの活用により、普段発言しない児童の意見も表すことができた。
白山市立千代野小学校	まあまあ進んでいる	体験型の研修を行ったこと、各クラスにサポートとして積極的に入ったこと。	Teamsの操作方法、Skymenuクラウドの活用法の体験型研修により、授業等での活用場面が増えた。	画面やファイルの共有によって、いつでも自由に情報等を扱えるようになった	2年生生活科の授業で、いきものすみかをプログラミングを通して描写した。交流場面では、個々が描いたものを共有しやすく、またグループで話し合ったことを描写する際も、素早く簡潔にできた。
白山市立松陽小学校	進んでいる	各担当が計画的に取組を実施してくれている。学年やブロックでICT活用の情報やスキルを共有し、クラス間差がない。	授業の中でスカイメニューを使って学びを深める場面を想定した演習多めの研修		
白山市立石川小学校	まあまあ進んでいる	先生方が、授業で積極的に活用したり、担当への質問が増えたから。	夏休みに、校内研修サポートを使った研修を行ったことで、チームス内でのエクセルやパワーポイント、OneNoteなどのスキルが身についた。	チームスに、資料を添付し、児童が自由に開いたり、拡大したりすることで、資料を個人のペースで活用できるようになった。	ビデオ録画機能を用いることで、音読や体育での実技を自分たちで撮影し、改善点を振り返り、生かすことができた。
白山市立松南小学校	まあまあ進んでいる	全体としての情報共有は捗っているが、個人の希望に合わせた内容までフォローアップできていないから。	教員間でFormsの活用方法を共有すると、指導の中で実践したり、業務の中で活用する教員が非常に増えた。	学年や3、4年ブロックのTeams内に教材のファイル（運動会お手本動画や各教科の資料など）を共有し、活用することで便利であった	5年の授業でonenoteを用いて板書を記録させたり、提出物を管理する中で業務削減になったり、イマーシブリーダーを用いて必要な支援を行うことができた。
白山市立美川小学校	まあまあ進んでいる	タブレットを効果的に使える場面が少しずつ見えてきた。	スカイメニュークラウドの機能紹介によって、端末活用に向けて、先生方に興味を持ってもらえた。	Teamsのファイルに主任会議や職員会議の提案を入れることにした。そうすると、分散勤務時でも職員会議をすることができた。	2年生の図工で、できた作品をカメラで撮影し、Teamsで共有した。コメントの入力は難しかったが、「いいね」や「びっくり」といった反応を返させたことで、反応をもらった児童はうれしそうにしていた。
白山市立蝶屋小学校	まあまあ進んでいる	年間計画を参考にどの職員も積極的にタブレットを活用しているから	職員全体での情報共有	teams内でタブレット実践を投稿するチャネルを作成した	
白山市立湊小学校	まあまあ進んでいる	先生方が研修の後、授業や校務分掌で抵抗感なく使ってみてくれているため。	職員会議やその他の会議をTeamsテレビ会議を使って行うことで、会議の開始の仕方・資料の共有の仕方・発言の仕方等を研修した。Formsでの課題、簡単なクイズの作成の仕方を研修した。	テレビ会議の研修を通してできるようになったことを使って、各クラスでオンライン授業を行った。また、高学年では学年を超えて運動会のチームを作成し、各団毎に子供が会議を開いて運動会の打ち合わせを行った。Formsを使って、低学年では授業の導入や定着度の把握、高学年では学習の振り返りを行った。また、全学年で週末に持ち帰って、復習を簡単な課題（クイズ）の回答を通して行った。	2年生の生活科の授業で、SKYMENUを使って春見つけや野菜の成長を写真を撮って記録し、写真に書き込んでポートフォリオとして記録したり、全員の写真を共有して発見や成長を交流した。それにより、自分の考えを広めたり深めたり、自分の考えや成長、記録と比較しながら聴いたりすることにつながった。
白山市立朝日小学校	まあまあ進んでいる	研修の時間を多く設けているから	講師を招いての学習会		
白山市立明光小学校	まあまあ進んでいる	コロナ感染の拡大によってパソコンを活用する必要感が高まったため。	Teamsの会議機能を使って、集会・研修を実践的に使用したこと。	連絡事項をTeamsの投稿で共有した。それによって、使用の抵抗感が薄らいだ。	4年生の音楽の授業で、発表ノートアプリを用いて聴き取ったことと感じとったことを付箋で出しあい話し合った。それにより、児童一人では気づけなかった聴きどころや感じ方を共有することにつながった。
白山市立広陽小学校	進んでいる	研修会を開く時間を計画的に確保している。	研修の一環として、オンラインでの模擬授業を実施したこと。雰囲気をつかむことができた。	teamsやformsの活用した学習を児童に還元できたこと。児童がスムーズに活用できるようになってきた。	5年生理科でめだかの様子をteamsに投稿し、違いについての意見をteams上で出しあった。それにより、活発な意見交換ができ、より深く違いについて迫ることができた。
白山市立河内小学校	まあまあ進んでいる	毎月1回は必ず研修会を行う方向で進めているから。	ICTサポーターの方を講師に授業で活用できることを紹介していただき、児童に還元しようとする教職員の意識につながった。	ICTサポーターの方を講師に夏季研修会でオンライン授業成功のためのヒント10をテーマに手順方法を説明していただき、2学期の実践をおこなう上で参考になった。	体育の授業で、運動している姿をカメラ撮影し、課題をみつけよりよい動きにつながるよう意識付けし、ねらいを達成するための一助とした。
白山市立鳥越小学校	まあまあ進んでいる	教頭先生、ICTサポーター、GIGA担当で連携を密に取り合いながら進めているため	フォームでアンケートを取り方、WEB会議とオンライン授業のやり方について。	イーラーニングを使って週1回PCの持ち帰りを行った。児童は自分のペースで、自分のレベルに合った問題に取り組むことができた。	6年生の英語科で、自分たちのスピーチを動画で撮影し、市の他校のALTIに見てもらい、返答をもらっていた実践。相手意識をもって、英語で自己紹介することができていた。
白山市立白峰小学校	まあまあ進んでいる	必要に応じてGIGA端末活用のための研修会を行う時間が確保しやすい環境になっている。Teamsを利用して授業の様子や活用の小技巧が日常的に交流されている。	授業実践例を参考に、実践例のICT活用場面を自ら体験する。	Teamsに活用場面をアップして共有することにした。それにより、活用の仕方をそのまま実践したり、アレンジしたりすることが簡単に利用の頻度が高まった。	4年生の総合の授業で、調べたことを中間まとめとして全員で確認するため、Wordの共有機能を使って記入した。自分だけが知っていること、他の友達も同じように気付いていることに気がついて、調べたことを重なりがないようにまとめることができた。
白山市立白嶺小学校	まあまあ進んでいる	夏期休業中に必要な研修を終え、新たにICTサポーターとともに学んだICT活用を進めているので。	児童の実態に合わせて取り組んだことを報告し、くわしくやり方などを伝授してもらうこと。	端末を持ち寄り実際に作動させること	Teamsに課題を貼り付けたり、SKYメニューで発表ノートを使ったりしたこと

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
野々市市立野々市小学校	まあまあ進んでいる	大規模校として、なかなか隔々まで声掛けしきれていない。	夏季休業中にMeetの使い方研修会を行い、その後学年ごとに別れアプリをたくさん触ってもらい、効果的な使い方の意見を集めました。	分掌部会をMeetを使い行った。Meetの使い方や、オンラインでの意見交流の仕方が身につけてきている。	6年生の国語の授業で、話し合いの単元でも話し合いができないので、ジャムボードを活用し、自分の主張を文章化し、他の児童が付箋機能を活用し意見交流を行った。他児童の考えを見たり、意見をもとにしたりし、自分の主張を推敲するいい機会となった。また、普段発表ができていない児童も交流に参加することができた。
野々市市立御園小学校	進んでいる	複数の担当者による推進。機器の保守や利用のお手伝いをする者と、授業実践を紹介する者で分担ができています。また、研修部をはじめとして、全職員が意識的にGIGAスクール構想の推進に励んでいる。	担当者が折あるごとに「GIGA通信」を発行（9/5現在14号）してきて、簡単な操作から授業でのアプリの利用方法まで、丁寧に解説し、使ってみたいという意欲を喚起してくれていること。	全校集会（平和集会）をchromebookとclassroomを活用して実施。全校classに平和教育のコンテンツを載せたり、全校児童の感想をフォームで集めたり、結果をclassroomで返したりすることで、集まらないながらも、みんなで集会を実施したという意識を持つことができた。	6年生の国語、報告書を書く授業で、班ごとに添削や意見を付箋に書いて知らせ合った。児童は、自分の文章に対するコメントを瞬時に見ることができ、いろんな角度から推敲を考えることができた。
野々市市立菅原小学校	まあまあ進んでいる	授業にChromebookを活用する場面が多く見られることと、授業だけではなく校務にもgoogleアプリケーションを取り入れる人が増えてきた。	夏期休業中に、実践報告会を設定し、各学年の取り組みから効果的だったことを説明し合った。	個人懇談会の希望日時のWEB回答、児童アンケートや保護者アンケート、学校評価等、これまで紙媒体で行っていたことを、Formを利用することで、集計作業がかなり軽減できた。	社会見学の際にChromebookで写真撮影し、グループで共有することで、まとめの新聞作りの際に必要な画像が容易に手に入ったので、作業がしやすかった。
野々市市立富陽小学校	進んでいる	学校研究と運動させ、計画的に研修を行っているため。	本校は職員の人数が多く、若手教員の数も多い。端末操作が得意な教員も多いため、全員参加型の研修ではなく、少人数の「ミニ研修」を7回行った。①iPadの基本操作を知らう ②iPadでデジタル教科書を使おう ③ジャムボードを使おう ④クラスルームの使い方 ⑤Chromebookの操作を知らう ⑥Google フォームを使おう ⑦電子黒板を使おう	学年研で、端末を使用する単元を決めたり、テンプレートを誰かが作ったら共有フォルダ等で教材の共有を行ったりした。それによって、端末使用頻度の差が学年間であまり出ないようになった。	・1年生国語「くちばし」 ジャムボードに全文シートを貼り付け、「問い」「答え」「くちばしの使い方」「なにを食べるか」「くちばしの形」を決められた色のペンでなぞったり、丸で囲んで文章を整理したりした。それにより、自分が選んだ図鑑から情報を見つけるときも、同じように色で分け、スムーズに情報を集めることができた。 ・4年生音楽「音の動かし方を生かして旋律をつくろう」 SongMakerを使って音の動き方を調べた後、ジャムボードの共同編集機能を利用して、グループで旋律づくりを行った。これにより、視覚的に音の高低差や音の動きを捉えることができた。また、どんな音楽にするかの話し合いや、実際に演奏してつくりたい音楽になっているかを確認する時間を多く確保することができた。 ・5年生社会「くらしを支える食料生産」 ジャムボードの背景に日本地図を貼り、食材や産地を付箋に書き、貼り付けさせた。それにより、食材の産地の分布の特徴が考えやすくなった。 ・6年生学級会活動「学年集会」 児童が自分たちの6年生としての姿を知る機会を作るために、グーグルフォームを使用してアンケート調査を行った。アンケートを元に結果をグラフ化したことにより、児童は自分たちに何ができていて、何ができていないかを、視覚的に理解し、今後の課題を見つけることができた。
野々市市立館野小学校	まあまあ進んでいる	計画で実施しているものやまだ計画段階であるものがあるため。	MEETの使い方・活用方とすることで、オンライン登校日を職員がスムーズに執り行ったこと。	共有ファイルを作成したことで、学年間での教材確認・実施状況がすぐに分かるようになった。	6年生の国語の授業「私たちにできること」で、班での発表をスライドで共同作成をすることで、時間の短縮・目的ある活動を行うことができた。
津幡町立津幡小学校	まあまあ進んでいる	1人1人の職員が必要感を感じ始めており、また、具体的な使用方法についての理解が進んでいるため、学校全体で少しずつ動き始めた。さらに、得意な若手職員が率先して、教えたり、助けたりする動きが見られ、実力を発揮している。	「きょうのGIGA」コーナー ホワイトボードにChromebookを活用して行う授業を提示し、自由に参観し合う。参観した先生はT・Vの感覚で補助や指導を行いながら、使用方法等について学ぶ取組。	月曜日の朝学習時に、全校でChromebookを活用する時間を設けた。タイピングやクラスルーム・宿題チェックなど、日常的に使える機能を先生方が工夫して時間を使っている。	5年生の国語の授業で、全校児童にフォームを使ったアンケートを実施し、自分たちの委員会活動がどれくらい浸透しているかを確認した。その結果を報告文の形式でドキュメントの共同編集機能を使って書き、拡大印刷したものを掲示した。目的意識をもって、一人一人がやるべきことに対し、意欲的に取り組んでいた。リアルタイムのアンケートにより、実態が把握しやすくなり、その後の議論が深まった。
津幡町立太白台小学校	まあまあ進んでいる	若い先生方を中心に、ICTを積極的に活用した授業を進めている。	ICTサポーターによる他校での実践例紹介。その後、本校でも実施できた。	朝学習に学習アプリ「ミライシード」を使って、復習問題を行っている。	5年生の理科の授業で、雲の動きを1時間ごとにカメラアプリで撮影し、画像をアプリで時系列ごとに並べ、どちらの方向に雲が動いているのかを児童一人一人が見つけることができた。
津幡町立中条小学校	進んでいる	目標の焦点化と職員の協力・頑張り	月1回の若手研で、担当が自分の担当授業で行った実践を発表する。	毎週火曜の朝学習で「ドリルパーク」に取り組み、学習内容の習熟を図った。	3年理科「風やゴムで動かそう」で、車の走った距離を記録するために、「ムーブノート」の「スタンプ機能」を用いたことで、記録の分布が視覚的に共有できた。
津幡町立条南小学校	進んでいる	推進リーダーの意欲と技能の研究	フォームでの課題提出の仕方の研修を行い、夏休みにみんなで実際に活用できた。	夏休みにの課題提出（日記）を2年生から6年生まで2回行い、全児童が家庭から提出する体験ができた。	6年の算数の授業で「文字と式」のXとYを使った式から式にあった文章問題を作り、オクリンクで共有し、問題を解くことができた。
津幡町立井上小学校	進んでいる	まずは、教師も児童も端末やその操作に慣れるということを目標にし、基礎的な操作についての研修を行ってきたからである。その際、リーダー2人で研修の企画や実践紹介を分担し、協力することができた。	全体研究会でJamboardを用いて整理会を行った。付箋紙に書くよりもグルーピング等を簡単に行うことができた。また、実際に操作することで、機能や使い方の周知が図れた。		3年生の道徳の授業では、オクリンクの機能を使って心情メーターのカードを作成した。児童一人一人がそれを操作して登場人物の心情を考えることができるようにした。児童の考えを一齐に表示することで誰がどのような考えをもっているかを教師も児童も一目でわかり、話し合いがスムーズにできた。
津幡町立笠野小学校	まあまあ進んでいる	定期的に研修を行い、校内研などでも活用しているため。	指導主事に来ていただき、クラスルームの活用の仕方について学んだこと	ミライシードのドリルパークを朝学習に行うことで、基礎的な問題の復習ができること	体育で自分の走り方を動画撮影し、フォームを修正していったこと。
津幡町立英田小学校	まあまあ進んでいる	毎週の5分0JITはできている。夏休みの校内研修は行った。しかし、学期中の校内研修は行っていない。またタブレットの活用の仕方にも教員間でまだ差がある。苦手な先生も一緒に使えるように取り組んでいるが心配な面もあるから	PDFのUPの仕方やカレンダーを使って予定を管理する、職員室用のクラスルームを作り、情報を共有すること、児童アンケート	使った教材を共有ドライブに「教材庫」と名前を付けて保存していき、他の学年でも使ってみる	5年生の算数の授業で、合同な図形の学習の時に、ミライシードのオクリンクを使い、合同な図形をかくために必要な情報を配付したワークシートに記入させ、使った情報を全体で共有した。
津幡町立刈安小学校	進んでいる	子どもから子どもの動きを使うことで、苦手意識の強い先生方の手を煩わさずに済んだこと	校長先生によるGooglemeetを使った0JIT	ラジオ体操カードをデジタル化した。夏休みに様子を見て教師から励ましのコメント等をくれたことで、学校とのつながりを絶やさなかった。また、夏季休業終盤、全校登校日にオンラインの練習を行い、1週間後に実際に家庭とオンラインでつながり朝の会を行った。そのため2学期のスタートがうまくいった。	5・6年生道徳でジャムボードを活用した。誰が投稿したかわからないことが利点で、誰？ではなく付箋の内容に目があった。
津幡町立萩野台小学校	まあまあ進んでいる	職員の学ぶ意欲が高いから	校内研でタブレットを活用した授業を行い、整理会で効果的な活用だったか検討したこと	学校全体で朝学習にミライシードのドリルパークに取り組みんだ。それによって、教師の指示がなくても朝学習がスムーズに始められるようになった。また、集中してドリル学習が行えるようになった。	6年生の外国語の授業で、英語を使った自己紹介文を考えたものを隣の小学校の児童とGoogle Meetを使って交流した。それにより、少人数のためいつも同じメンバーだけで交流していた児童たちの意欲が高まった。また、新しい学びを得ることができた。
内灘町立向栗崎小学校	進んでいる	主に以下の4つの理由が挙げられる。 ・先生方がGIGAスクール推進に向けて、積極的に活用していること ・教育課程委員会や町ICT推進委員会等、町ぐるみで組織立てて推進に向けて動いていること ・今年度より町でICT推進教師が採用され、町内全校のICT推進を図っていること ・全教室の電子黒板設置で環境整備も進んでいること	他校の先生との交流	今年度は、校内研修を積極的に行っていく中で、どのような実践をしたか報告することに力を入れている。共通実践に関しては今後の課題である。	4年生の国語の単元で、グループで新聞の記事を書くという場面の中で、共同編集機能を使うことで、効率的に進められた。
内灘町立清湖小学校	進んでいる	計画的に研修を推進しているため	クラスルームを活用したオンライン研修会	電子黒板の活用方法を共通理解して教科書の資料提示、書き込みを円滑にできるようになった。	3年生の算数の授業でクロムブックや電子黒板を使って、児童の意見を交流することができた。
内灘町立鶴ヶ丘小学校	まあまあ進んでいる	どの職員も意識的に取り組もうとしているから	ミライシードの活用方法の共有		3年生の算数の授業で、ムーブノート上で自分の考えを図に書き込み、クラス全体で共有した。様々な児童の考えを端末で見ることができ、思考を深めることにつながった。
内灘町立大根布小学校	まあまあ進んでいる	職員がクロムブックを使う機会が増えた。	実践交流会	ミライシードを使い児童の意見交流の場の活性化	道徳科で事前アンケートをフォームで取り円グラフで提示することで実態を素早く把握することができた。
内灘町立白帆小学校	進んでいる	必要感をもった教員が多く、協力体制があるから。	Google meetの使い方研修を行ったこと。今後を考えた時に、リモートの仕方を確認したことで、夏休みにリモート登校日を行うことができた、実際に実践できる場を設けることができた。	朝学習でICTを活用することで、教員や児童のICTの慣れにつながった。	6年生の社会（歴史）の授業で、2つの時代を比べる場面で、ミライシードのムーブノートで気になったところにスタンプを置いたり、思ったことを書いたりすることで、児童がどこに着目したのかが即座に分かり、児童同士でも考えを比べるのに有効だった。
内灘町立西荒屋小学校	進んでいる	推進チームが中心となって、教務や学習部などと連携しながら進めることができているから。	共同編集作業を体験する取組。 Jamboardを使って実践交流を行った。	夏休み中の連絡をスプレッドシートを使って行った。 各種アンケートをを使って行った。	5・6年生がスライドで日本のよいところについてまとめ、外国の方に英語で紹介することができた。
かほく市立高松小学校	まあまあ進んでいる	教員の意識の高さ	jamboardやミライシードなど実践をふまえた紹介	ミライシードで考えを共有し、全員の考えを知る。学校アンケートの実施。	5年生の国語の話す聴く学習で、話す聞く様子を動画で撮影し、見返しながら、メモを書いたり、発表資料を準備した。その場では気づけなかったことを見直すことで理解を深めていた。
かほく市立大海小学校	まあまあ進んでいる	活用実践の共有化を図るため、0JIT研修や実践記録の充実を進めているため。	『ミライシード』のドリルパークなど、実際にタブレット端末を操作体験しながら研修したこと。	カメラ機能を使って、各自が育てている植物の継続した観察記録が保存できた。また、園工や家庭の作品を撮影し、全体交流の一方法として各自の端末で作品交流を行うことができた。	6年生の図工の授業『くるくるクラック』で、動きのある作品を制作した後、作品についての説明や動く様子を動画で撮影して、鑑賞会を行った。友達の様々な工夫や面白い動き方があることに気づくことができた。自分のペースで、何度も見直すことができるのも良かった。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
かほく市立七塚小学校	まあまあ進んでいる	周りの先生方が協力的で、タブレットを積極的に使用してくれるからです。	スマートスクールネットで紹介されている事例を全教職員で視聴し、普段の授業でどのように使っているのか話し合い、授業での有効な使用方法について検討した取組	学年で使用出来るクラスルームを設定し、それを使ってクラス間での交流や発表を行うことができた。また、他学年との交流にもタブレットを使って交流することができた。	2年生の国語の授業で、観察したことを記録する場面で、オクリンクを使って自分が見つけた、みんなに知らせたいことを提出し、それを使って発表を行った。見つけたものの写真を撮り、その写真に直接メモをすることで、何を見つけたのかがはっきりした。また、説明を文にまとめる際に、写真を提示しながら行うことで、より伝わりやすい説明ができた。
かほく市立外日角小学校	まあまあ進んでいる	情報共有してくれる同僚がいるため	meetの使い方の共有	各学年での取り組みを共有フォルダに入力してもらい、共有しあったこと・高学年による低学年へのサポート	6年生の国語の授業で、提案文をグループで書く際の情報共有と交流のためにjamボードを用いた。付箋を使ったり線を引いたりして話しあう中で交流したこととは「個々での意見を集約・分類し共有する」とつながった。
かほく市立宇ノ氣小学校	まあまあ進んでいる	日々の研修やお便りでクロームブックの使い方を紹介することで、少しずつクロームブックを活用しようとする職員が増え、クロームブックを使い、慣れることができてきているから。	・クロームブックの使い方の研修では、各自のクロームブックを持ち寄り、学年団でグループになり、相談しながら行うことで、全員が操作方法を身に付け、実践することができた。	・研究授業をgooglemeetで配信することで、密を避けて参観することができた。また、別室で見ることによって、指導案を基に意見交換しながら見ることができ、より深く授業を参観することができた。	・6年生の英語の授業で、自分の発表の様子を動画で撮影し、自分を客観的にみることににより、よりよい発表にするためにどうすれば良いか考えることにつながった。 ・2年生の生活の時間に育てている野菜をカメラで撮影し、クロームブックに保存することで、天気が悪くてもじっくり観察することができた。また、拡大、縮小機能で細かいところまで観察することができていた。 ・6年生の道徳の時間で、ミライシードのムーブノートを活用した。自分の考えを書いて、共有した。発表しないとわからない友達を考えをひと目で全員見ることができた。また、考えを基に理由を発表してもらうことで、自分と比べて聞こうとする児童が増えた。
かほく市立金津小学校	まあまあ進んでいる	職員の意欲が高いから	各担任による活用方法の実践発表	クラスルームを使って、校内の情報共有できるようにした。	5年生の授業の、図形のかき方を説明する際に、ミライシードのオクリンクを用いて、画像に書き込みながら説明をし合う時間を設けた。多様なかき方を分かりやすく説明し合うという学びができた。
宝達志水町立押水第一小学校	まあまあ進んでいる	各教員の端末を使用して授業しようとする意欲や姿勢が伸びているから。	担任全員でgoogle classroomの基本的な使い方を共有した研修。	特別に共通実践したものはない。各学年の実践発表の日を日にちを決めて日々の授業に取り組んだ。実践の発表が繰り返されるうちに、児童の実態に合わせた使い方を教員側が取捨選択できるようになってきた。	5年生の理科の授業で、ノートを使用せず、事前に教員側で用意したドキュメントアプリの表を使って実験の結果をまとめたり、考察したりした。結果の表の中に写真を取り込んだり、重要な部分に色を付けて記録したりと、児童が主体的に学習に取り組んでいた。 6年生の国語の授業では、物語文の登場人物の関係図をjamboardアプリを使って製作する活動を行った。個人で作った関係図を利用して意見を出し合い、児童が互いの意見の相違点に気付くことにつながった。
宝達志水町立宝達小学校	まあまあ進んでいる	校内研修を計画的に行っていることを、全職員が共通理解しているから。	研究授業でPCを使用し、成果や課題を話し合う。	授業研究での使用方法を交流する事	6年生算数の比の学習で、ソースとケチャップの数をジャムボードの付箋の個数で表し、考えを表現することができた。
宝達志水町立相見小学校	進んでいる	目的が共有化され、全教員が端末使用に積極的に取り組んでいるため。	各アプリの使用例を知るだけでなく、それらをどのように作成し、使用するかを全員で理解し、練習する場を設けたこと。	研究授業に必ずICTの活用を取り入れ、参観の視点の一つとし、整理会で、それが効果的だったかを検討したこと。	3年生の算数の授業「あまりのあるわり算」で、あまりの扱いについて、図を囲みながら考えた。さらに、全体で共有することで、友達の様々な考えを知ることができた。
宝達志水町立志雄小学校	まあまあ進んでいる	研究の一つとして位置づけられているため、負担を増やさずに研修を進められること。	教員の相互授業参観で、お互いのICT活用授業を見合い、ICT活用スキルの向上に努めた。その結果、各教員のICT活用の幅が広がり、日常的なICT活用授業ができるようになった。	ICTスキルタイムを設定し、全校でICT基本スキルの向上に努めた。その結果、基本的なPC端末の操作や文字入力、情報検索などがスムーズに行えるようになった。	5年生の社会の授業で、複数資料からあたたかい土地の農業の特徴について自分の考えを説明するために、Googleドライブの共有ドライブから必要な資料をJamboard上に選び出してまとめ、説明した。それにより、課題解決のために必要な情報を集め、選び、読み取って説明するという情報活用能力を高めることができた。
宝達志水町立樋川小学校	進んでいる	GIGA校内研修計画に基づいて、組織的に取り組んでいるから。	授業実践をもとにしたICT活用事例の報告会	朝の健康観察をGoogle formで行ったことで、口では言えない痛みや心の不調の理解を図ることができた。	6年生の社会の授業で、縄文時代と弥生時代のくらしを比較し学習課題をつくる中で、ジャムボードを活用し、各自の考えを比較・分類しながら考えを深めていった。端末を活用することで、リアルタイムで情報共有することができたり、考えをもつことが難しい児童にとっても他者の考えがいつでも見られることで考える一助となったりした。 外国語の授業で、スライドに調べたことをまとめて発表資料を作成した。スライドにグループメンバーで共有をかけたことで、作成にかかる時間が大幅に短縮できた。また、グループ発表を行う際に、カメラ機能で自分たちの話す様子を撮影し、ふり返ることで客観的に自分たちの姿を捉えることができた。フォーム機能を活用し、毎時間終末に振り返りを実施した。振り返りの蓄積とリアルタイムで全体共有することができた。
志賀町立志賀小学校	まあまあ進んでいる	・各学年の実践リーダーで情報交換をしながら組織的に取り組めたため。 ・タブレットの運用やトラブルに対して常勤のICTサポーターが配置され、迅速に対応できたため。	全体の研修と推進リーダーに研修に分け、特に技術的であったり、伝達のための研修は少人数の推進リーダーに広め、各学年に確実に広めるようにしたこと。 ・具体的には、ワイヤレスでの画像の表示の仕方。 ・データの印刷の仕方。 ・データの保存の仕方、ルール など	・タブレットを文房具のように気軽に使うように、学習の前に机の中に待機させておく。（中・高学年） ・職員会議をペーパーレス化することで、ファイルの共有やソフトなどスキルアップにつながった。	・カメラ機能を使って、生活科や理科で観察記録をとり、成果物にまとめることができた。 ・動画機能を使って、低学年では音読練習、高学年では英語の発音練習や体育の表現活動の様子を撮影し、表現のスキルアップや学びあいに生かすことができた。 ・画面共有の機能を使って、児童一人ひとりの考えを見せ合い、学びあいに生かすことができた。
志賀町立富来小学校	まあまあ進んでいる	職員全員の協力があること、ICT機器活用スキルの高い教員が複数いること。	研修内容を事前に周知し、参加したい教師やまだ自信がないなどの有志による研修を多くした。基本的な質問でも気軽にできるような雰囲気を作った。	理科で観察や実験の様子、結果についてタブレットで写真に記録するようにした。その結果話し合いや学び合いが深まることが多くなった。	2年生の算数の授業で、児童が題意を把握しているか、問題のねらいにそって考えているかをつかむために、ミライシードを用いて教師作の問題（質問）に回答させた。それにより全児童の学習状況を短時間でつかむことができた。
羽咋市立羽咋小学校	まあまあ進んでいる	GIGA推進委員を中心に、OJTや掲示物、機器の整備など、実践しやすい環境となっているから。	具体的な操作方法を全員で学び、授業で実践してもらった。さらに、先生方の実践を職員室に掲示することで、参考にし合ったり、実践数を増やしたりすることができた。	毎週末にPCを持ち帰り、PCでの宿題を出してもらった。初めは、宿題の内容を指定し、全校で取り組んでいたが、4週目からは各学年の実態に応じた内容を出してもらった。それによって、子どもたちだけでなく、先生方もPCを活用する機会や、どのように活用すればいいのかを考える力が少しずつ身につけてきた。	5年生の算数の授業で、活用問題をやる場面で、Jamboardを用いて解き方を考えた。グループで1つの問題を共有し、お互い書き込みができるようにすることで、自然と対話がうまれ、協働的に学ぶことができていた。
羽咋市立粟ノ保小学校	進んでいる	学校全体の協力体制	GoogleクラスルームやMeet、ミライシードなどアプリの使い方講座を行った。また、必要に応じてタイムリーな内容のミニOJTを行い、先生方の質問や相談に応じた。	授業において、ICT機器を児童に使わせただけの場合、週案に1マークを書いている。週末には1マークの合計をスプレッドシートに記入し、前週との比較や学期ごとの集計ができるようにしている。併せて、毎月最終金曜に、各担任が取り組んだICT活用の実践レポートを低・高グループに分かれて交流している。	6年生の国語の授業で、グループごとに発表を行う場面の中で、ドキュメントアプリの共有機能を用いて、児童同士で発表原稿やポスターなどを共同編集させた。また、教師も共同編集者となることで、リアルタイムに添削作業を行った。これにより、話し合いながらより良い表現を模索することで発表内容をブラッシュアップすることにつながった。
羽咋市立瑞穂小学校	進んでいる	学校研究に位置付け、実践を通して共通理解をしているから	アンケート関係をICTで効率的に作成、修正、分析できた。	タイピング力向上のため3年生以上でアプリを活用してタイピング練習を行った。それによって対象の全学年でタイピング力が向上した。	6年生の社会科の授業では、自分の立場を明確にしながら根拠をまとめる場面で、授業支援アプリを用いてお互いの考えに触れた。そのことにより、友達の考えを関連付けながら学びを深めることができた。
羽咋市立西北台小学校	まあまあ進んでいる	目標は達成している。児童も使用には慣れてきた。しかし、教師相互の実践共有がなかなかできていないため、評価を「まあまあ進んでいる」とした。各教員の実践共有をしていなかったのは、1学期はなれる期間と計画変更したためである。2学期以降は実践共有を行っていく。	みんなで使ってみる。	・帯タイムでフリーソフトの「プレイグラム」を使って、4～6年生はタイピング練習を毎週した。学期の目標を設定することで着実にタイピングスキルが向上してきた。	・3年生算数の授業において、jamboard上で足し算の筆算をそれぞれが作り、他の友達の筆算を解いた。意欲的に沢山の練習をするこにつながった。 ・4年体育リレーにおいて、バトンを渡す場面を動画に撮り、班ごとに見合うことで、バトンパスの改善を自分たちで行うことができた。 ・5年社会において、複数の資料をjamboardで共有しておき、それぞれが自分の主張に合った資料を選んで考えを伝えることができた。
羽咋市立邑知小学校	進んでいる	日頃から、ICTを活用しているので実践を共有できる。得意な人をメンターにしながら、使い方の演習をしている。	オクリンクやムーブノートの使い方の研修会を行ったこと。	ICT活用のスキルの基準を低、中、高学年で定めた。各学年でつきたいICT活用の基準が明確になった。	1年生の算数の授業で、計算カードの決まりを見つける場面で、カード全体を見ても気づきにくかったことが、一部を取り出し、オクリンクのスライドに計算カードを書いてつけて考えることで、加数と被加数、答えの増減に着目して考えることができた。
羽咋市立余喜小学校	まあまあ進んでいる	年間計画の見直しも含め、先生方と共通理解を図りながら、新たな取組や目指す方向性が定まってきたから。	毎回の要請訪問の模擬授業を通して、デジタルの活用という視点において、協議や相談ができたこと	学期ごとにテーマを決めて実践をすること 1学期はミライシードのオクリンクで、2学期はミライシードのムーブノート	Googleアプリのジャムボードを活用することによって、授業の協同作業だけでなく、委員会や縦割り班活動でも子どもも主体で活動できたこと
中能登町立鹿西小学校	まあまあ進んでいる	定期的な研修やお便りを発行している。教職員が協力的である。月行事に位置付けている。	授業実践でどんなことをしたのかを交流する研修を行うことで、活用の幅が広がった。	児童の気持ちの変容をアンケート機能を使うことですぐに確認共有することができた。ポジショニングなど	児童の考えや作品を振り返ったり、次の課題解決の助けにつながった。発表を自画撮りしてよりよい発表につなげた。
中能登町立鳥屋小学校	まあまあ進んでいる	計画に沿って研修時間をとったこと。	授業で使える活用例を紹介したこと。	タブレットを身近に置き、休み時間にも使えるようにした。	道徳の授業で、自分の考えを示し、友達と比較することで相手の考えの理由や背景を考慮することができるようになってきた。
中能登町立鹿島小学校	まあまあ進んでいる	研修等の取組に関する振り返りを十分にできていない	総合研修センターの方にTeamsやSky menuの活用法を教えてくださいましたこと		
七尾市立小丸山小学校	まあまあ進んでいる	全職員がICT活用に対して前向きだから。	ICTサポーターを活用した校内研修。授業で1人1台端末を有効に使う方法を知ることができた。	学年部ごとに1人1台端末を使った授業について、成果や課題などを話し合った。課題に対する解決方法をその場で話し合ったので、その後の授業にいかすことができた。	6年生の社会の授業で1人1人が疑問に思ったことを各自のペースで調べることもできた。それにより、教科書や資料集だけではわからなかった、歴史的背景まで知ることができた。
七尾市立山王小学校	まあまあ進んでいる	学校が協同的な雰囲気であるため、有効な使い方が分かった教員が声に出すや広まりやすいから。	ICTサポーターの、Formsによるアンケート調査の研修。	学年部会で、道徳の中心発問の答えをムーブノートで答える取り組みをした。子どもの考えをクラス全員で共有できるようになった。	2年生の「大きな数」の単元で、位取り表と数字カードをオクリンク上で操作できるようにワークシートを作った。これにより、今まで位取り表や数字カードを出したり片づけたりする時間が省けた。
七尾市立天神山小学校	まあまあ進んでいる	GIGA校内研修年間計画における1学期末の中間目標に対して、ほとんどの学年がそれ以上の取組ができていたから。	Benesseのソフトで、ミライシードのソフトに含まれるオクリンク（カードに考えを表現できる）・ムーブノート（個人の意見を瞬時にクラス全体に共有し、他者の意見を取り入れながら考えをさらに深める）の授業での実践例と、ワークシートの作成や保存、利用方法についての研修。	情報モラルに関する動画を視聴した後、ムーブノートを使用して一人一人の考えを書いた。その後、意見交換を行い、自分とは違ったさまざまな考えがあることを知り、自分の考えを深めることができた。	3年生の図工の時間に児童が作成した作品を写真で撮影し、アプリを利用してお互いの写真を見合うことができるようになった。それにより、移動せずに作品の細かなところまで着目して鑑賞することができるようになった。 5年生の理科の時間で、条件を変えた植物の成長の様子を写真でPC端末で撮影して貼り付け、気づいたことを書き加えて観察カードをアプリを利用して作成し、お互いのカードを見合うことにより、成長の違いを複数の観点から確かめることができた。
七尾市立朝日小学校	まあまあ進んでいる	資料を作成し、共有しているから。	実際に触ったり児童の立場に立ったりして行う研修会	パソコンバッグを購入してすぐ使用できるようにした。GIGA開きを全校共通で（プレゼンをもとに&集会で）行った。	オクリンクで自分の考えを書き、送信して共有することで、友達の考えと自分の考えを比較し、自分の考えが広がっていた。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
七尾市立東湊小学校	まあまあ進んでいる	年度当初の計画通りほぼ出来ているから。	日常的なOJTにより、先生方が必要な活用例を指導できている。	全校で朝の帯タイムで文字入力や基本的操作になれる活動をしている。高学年が低学年に指導する機会を設けているので、端末操作能力向上すると共に、低学年との交流に繋がった。	道徳でアンケート機能を使うことにより、自分の立場を明確にし議論を深めることが出来た。
七尾市立石崎小学校	まあまあ進んでいる	全職員が協力的に研修に参加している	ミライシードの使い方		
七尾市立和倉小学校	まあまあ進んでいる	・定期的に校内研修を行えたから。 ・先生方が積極的にタブレット活用に取り組んでいるから。	校内研修で、タブレットを見せながら実践したことを交流した。先生方が使い方を教え合い、知らなかった使い方を知ることができた。	学校研究とタイアップして、先生方が1週間の中でタブレットを使う日や回数を決めて実践した。タブレットを意識して使うことができた。	・5年生の音楽の旋律をつくる授業で、オクリンクの録音機能を使って和音を録音し、カードにはりつけて配布した。児童は和音を聞きながら、試行錯誤して旋律をつくることができた。また、カードを送り合うことでどのように作ればよいかわからない児童は、友達がつくった物を参考にして作ることができた。 ・6年生の算数の授業で、児童が書いた自分の考えを書いたカードを送らせ、大型モニターで一覧表示することで、考えの見取りを行い意図的指名にいかすことができた。
七尾市立田鶴浜小学校	まあまあ進んでいる	どの教員も「まず使ってみよう」という気持ちが高い。研修以外にも日常的に情報交換している。ICTが得意な教員がいる。	・基本的な使い方の確認。新しい使い方がわかったときに、他の人に紹介していること。 ・授業の取組紹介。 ・失敗、成功例の交流。	校内での研究授業でミライシードを使った授業を行い、どのような使い方がるか活用のかを生で見ることができたことが、他の職員の参考となり、刺激となった。	国語科や算数科の学習では自分の考えをオクリンクで送り、互いに見合えるようにした。社会科の学習では資料を探すことに多く活用できた。生活科では朝顔の成長記録を作ることで、植物の生長の様子をより実感することができた。図画工作科では、互いの作品鑑賞や作品の記録に使うことができた。その他にも、学級会や道徳等で目標を考えたり、互いの考えの共通点を考えることに役立った。
七尾市立中島小学校	進んでいる	「使う・慣れる」を全ての学年で実感することができたから	Microsoft office 3 6 5 の各種アプリの活用実践	snippingtoolでの画面切り取りから、ミライシードへ貼り付ける共通理解をすることでスクショより手順が少なくなり、教師も児童も簡単に必要な情報をミライシードにコピーできるようになった	4年生の社会の授業でタブレットでシンキングツールに自分が調べてきた情報をまとめて全体に共有し、これから共通点や、人々が大切にしていることなどを比較して考えることができた。
七尾市立能登島小学校	まあまあ進んでいる	校内研修の時間の確保をしてくれているから。	ミライシードの活用研修会	カメラ機能を全学年で使ってみた。それによって、教科への応用がどの学年もスムーズにできるようになった。	4年生の学活の授業で、エンカウンターを行った。教師の書いたイラストを推理するゲームをする際に、児童が予想した答えをオクリンクを使って解答を送信する。クイズ番組のような雰囲気を楽しみ、活動に意欲的に取り組むことができた。
能登町立柳田小学校	まあまあ進んでいる	毎月終わりに日を設定し、計画通り進んでいる。活用状況も週に1回以上活用できている人が多くいる。	GIGA校内研修後、Chromebookの活用状況を「Forms」を活用して、授業を担当している先生にアンケートをしている。	道徳の授業では、授業前に事前にアンケートを実施して、状況の把握をした。また、「AIテキストマイニング」で、アンケート結果を可視化した。	低学年では、カメラ機能を活用した実践をした。カメラ機能は、低学年から簡単に使える。記録に残るので、過去のものと比較したり、グループごとに比較したりできる。詳しく見たいところはアップにして見ることができる。
能登町立宇出津小学校	まあまあ進んでいる	①若手教職員が中心となった端末を用いた授業の実践し、研修会においても職員が関わり合いながらICT活用についてアイデアを交流している。	・指導主事の先生方や村井先生を招いての研修会は、日々の実践の振り返りや今後目指す方向性を考えることができた。また、日常的OJT（ミニ研修会）でアプリケーションの使い方や、どのような場面で端末を用いると児童にとって学びを広げたり深めたりできるのかを意見交流できるリアルタイムな場に大きな価値がある。	・児童の欠席状況をスプレッドシートを用いて速やかに情報共有している。 ・校内研究授業の整理会においてジャムボード、スプレッドシートを用いることで、授業達成率が自動計算されたり、職員が端末に対して使い慣れたりする機会の1つとなっている。	実践例① 第3学年外国語活動 「How many?」 ・クイズ「口の中に入れたチョコレートがいくつ?」をジャムボードを用いてペアで取り組んだ。児童が繰り返し動かせ、「How many? “ (Ten) chocolates” の表現に慣れ親しむことができた。また、スライドで食べ物のデジタルフラッシュカードを作成し、英語表現を個々で慣れ親しむことへもつなげた。 実践例② 第2学年国語科 「かんざつ名人になるう」 ・中庭で見つけた植物をカメラ機能で撮り・保存した。外に行って触ったり、匂いを嗅いだりして観察することができない雨の日や猛暑の日には教室で色合いや形を観察することができた。
能登町立韮川小学校	進んでいる	・全職員が端末使用に積極的であること。 ・ICT支援員の協力が手厚いこと。	授業での活用方法の共有。月に1回報告タイムを設けたり、研究授業の際に端末使用の効果について見合ったりしている。	チャット機能を用いて、職員間の連絡や情報共有を行っている。「職員連絡専用のチャットルーム」「教材共有のためのチャットルーム」「ICT支援員とのチャットルーム」などルーム分けして使いやすくしている。連絡がいつでもできるようになったり、写真や動画をを用いた情報共有が簡単にできるようになったりした。	6年生の外国語の授業で、jamboardを用いて、世界の国々の観光について紹介するプレゼンテーションを作成した。スライド等比べて機能がシンプルであること、ペン機能を簡単に用いることができることから、短時間で児童一人一人の個性あふれるプレゼンテーションができた。また、作業しながら友だちのプレゼンテーションを見ることができ、支援が必要な子やアイデアが浮かばず困っている子にとっても取り組みやすかった。
能登町立小木小学校	進んでいる	フォームによるアンケートなどに全職員が積極的に取り組んでいる。ジャムボードに挑戦し、失敗もあるが回数を重ねている。遠隔授業や他校との交流などに取り組むことができてい。指導者がいろいろ挑戦している。	実践例の共有	校内研の研究授業でグループ学習をジャムボードを使って取り組んだ。	6年国語の提案する文章をグループで直すときにジャムボードで共有し、付箋を貼ったり、ラインを引きながら話し合う活動は効果的だった。
能登町立松波小学校	進んでいる	ICT活用指導力強化事業のモデル校の指定を受けており、教職員のモチベーションが高く、必要感をもって取り組んでいるから。	1学期末に、これまでの実践での成果と課題を交流する研修を行った。そこで、これから取り組んでいく課題について共通理解を図ることができた。	Googleの共有ドライブに教材庫を作成し、各教員が作成した教材や成果物等を共有できるようにした。それにより、自分の担当している授業で活用できそうなものを見つけたり、ほかの教員と情報交換をしやすくなる機会が増えた。	3年生の理科の授業で、チョウの観察の記録をつける場面の中で、ジャムボードに撮った写真とコメントを継続して書き込んでいった。それにより、継続して記録を残し、成長過程を振り返りながら学習することができた。写真を拡大することで、より細部まで観察することができた。また修正や交流も容易であった。
穴水町立穴水小学校	まあまあ進んでいる	6月くらいに、Chromebookを使える環境が整い、ルール作り、学習での活用が始まったため。職員研修が計画的に進んでいるため。	・悩みの共有 ・classroomに投稿する練習等、職員全員で試す研修	学校全体で明日の時間割をクラスごとにスプレッドシートに入力し、classroomに投稿するようにした。時間割変更や担任以外が担当する教科の学習内容がすぐに共有できるようになった。	道徳・総合等の導入時、AIテキストマイニングを使って児童の考えを共有したこと。
穴水町立向洋小学校	まあまあ進んでいる	校務用デスクトップPCからGIGAスクール向けアプリの利用に制限があること、児童と教師の使用する端末が違うこと、端末やシステムの初期導入が遅れたことなどから、なかなか授業実践につながらないということがある。しかし、校内研修年間計画や目標を意識し、教職員が協力的に取り組んでいる。	1学期実践報告会		
輪島市立河井小学校	進んでいる	GIGAスクール構想の理解が教職員間で進んでいるため。	1学期の振り返りをジャムボードの付箋機能を使って行ったこと。1学期の成果と2学期以降に使えるようなアイデアを出し合い、指導の見直しを持った。	教職員のクラスルームを開設し、Google formsを使って学校行事の反省や各種アンケート調査を実施することで、集計、分析を効率的に行うことができるようになった。	1年生の国語の授業で、音読劇の様子を端末で撮り、後でグループごとに振り返りを行った。また、撮影した動画を近隣の小学校と交流し、お互いの学びを発表し合った。それにより、相手意識を持って伝えるためにどうすればよいか行動の仕方や読み方に気をつけて学習をすすめることができた。
輪島市立風至小学校	進んでいる	4月当初に年間の研修計画を職員で共通理解をしたことと、年間行事予定に位置付けたこと	4月当初に、各Googleアプリの使用方法や活用方法を研修で行った。そのことで、1学期前半には全職員が授業実践までいくことができた。	1週間に1回、GIGAの実践報告をformで行い、共有することで、教員の実践意欲や共通実践が密にされたこと。	1年生の国語の授業で行った音読発表会では、他校の1年生とmeetを繋ぎ、発表を行ったり、classroomを設立して、感想発表を交流し合ったりした。そのことにより、コロナ禍でも他校との交流ができ、児童の目的意識にも繋がった。
輪島市立鶴巣小学校	まあまあ進んでいる	外部講師を招いたり、各クラスの取り組みを紹介したりする中で、クロムブックを活用した授業についての共通理解が進み、学校全体での活用場面が広がってきている。	外部講師を招き、授業における具体的な活用方法や、有効なサイトやアプリを教えていただいた。		3年生の理科の学習で、5cm、10cm、15cmのゴムを用意し、それぞれ何m動かすことができたか、記録していった。その後、その記録を基に、4mびったり動かすには、何cmのゴムを使うと良いのか予想することができた。今までの記録を根拠に、考えることに役立てることができた。
輪島市立大屋小学校	まあまあ進んでいる	・新たなことに積極的に取り組む教職員が多いこと。 ・具体的な活用事例を共有する場（classroom）を設けたこと。	活用事例を共有するclassroomを作成したこと。	共通実践は行っていません。	3年生 外国語活動：カメラ機能を用いて、既習の表現を自撮りし、撮影したものを再生して、発音等を確認した。「もっと上手に言いたい」と児童が何度も撮影し、外国語活動への意欲の向上と技能の向上につながった。
輪島市立河原田小学校	まあまあ進んでいる	計画に従って校内研修や外部講師を招いた研修を実施することができているから。	ICT支援員や教育委員会主催のオンライン研修でのGoogle for educationやInterCLASSCloudの操作説明会に職員みんなが参加したこと。	職員全員がクラスを作成し、みんなが同じ経験をしたり、同じアプリを使って教え合ったりできたこと。	1・2年複式の国語 各自が書いたワークシートを教師が撮影し、クラスルームに貼り付けて、それぞれが自分のタイミングで友達ワークシートを見られるようにした。その後、テレビにつないで友達ワークシートのよいところを拡大しながら話し合い活動を行った。
輪島市立三井小学校	まあまあ進んでいる	市単位の部会等で発表するなど機会に合わせて校内で振り返りやまとめをしてきたから	日常的な情報交換、1学期の授業実践事例報告・交流会	1学期の授業実践事例報告、実践例を先生と児童役にわかれて報告してもらった。	3・4年生の国語科の「書く」単元で清書を音声入力し、相互評価の時間にコメント機能を使って、どの言葉からどう思ったかをコメントすることによって、評価の根拠が焦点化された。
輪島市立町野小学校	進んでいる	GIGA校内研修年間計画を作成した際に、中間目標に対する前期取組を明確にし、それに対して組織的に実践を行っているから。	小規模校で職員の年齢層にも大きな開きがあるため、校内研修ではペアやグループで困ったことはすぐに聞ける環境にして端末やアプリケーションの操作研修会を行った。	各学年部輪番で授業での活用状況をワンペーパーにまとめて紹介してもらった。実践紹介を計画することによって、推進リーダーや推進チームだけでなく全職員、全児童の誰一人取り残すことなくGIGAスクール構想の実現に向けて実践を進める意識を持って取り組めるようになった。	6年生の理科、単元名「物の燃え方と空気」の授業で、実験の様子を動画で撮影することで、実験結果を何度も再現したり、変化があった瞬間に焦点化したりすることができた。また、実験に再現性を持たせたことにより、仮説や予想に対して考察する時間を十分に確保したり、より妥当な考えを持たせたりすることができた。
輪島市立門前東小学校	進んでいる	GIGA校内研修年間計画を掲示し、取り組みの可視化を図り、計画通り実践できているから。	クロムブックを活用している授業の相互参観。	授業の相互参観や校内研修での学びをいかして、クロムブックを授業で使ってみるよう促したこと。	5年生の社会の授業で、資料を読み取り、分かったことを書き、交流する際にジャムボードを使用した。それにより、児童1人では気づけなかったことに気づいたり、複数の資料の正確な読み取りにもつながりやすくなった。1年生の生活の授業で、あさがおの写真をカメラ機能を用いて写真に撮った。それをスライドに残している。絵や文章では残せないリアルな成長の記録を個人個人で残すことができるし、絵が苦手な子でも積極的に取り組むことができた。
輪島市立門前西小学校	まあまあ進んでいる	1か月に1度校内研修の場で共通理解の場を設けることで、みんながChromebookにふれるようになった。	終礼時に短い時間に、操作の研修をしていったこと。	研修ファイルを作成したこと。Chromebookを子ども達の机に入れたこと。	5年生の算数科で、考えを交流する場面でJamboardを使うことで、考えを比較することができた。
珠洲市立上戸小学校	進んでいる	年間計画を全員が把握し、見直しをもって取り組んでいるから。	7月に行った学習支援システム（eライブラリ）やクラスルーム等の実践例報告	朝学習や宿題に学習支援システム（eライブラリ）を取り入れ、個に応じた学習を進める取組	4年生の社会の授業で、市の施設見学に行った際に学んだことをスライドアプリを用いて写真を入れてまとめた。それをクラスルームで共有し、助言し合った。自分でレイアウトを考えて目的を意識した表現をすることができや。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
珠洲市立飯田小学校	まあまあ進んでいる	若手教員が多く、情報を共有しながら研修できていること。	それぞれの実践報告を行うことで上手くいった実践も失敗した実践も共有できた。	年度当初に「活用年間実践プラン」を作成し、各学年で身につけたいスキルを明確にした。それによって、共通実践が進んだ。	6年生の社会の授業で、資料から感じた問いをJamboardを用いて付箋に書いてグループでまとめさせた。グループの中で多く出てきた問いを分類させた。自分達が何に疑問を持ち、何を調べていけばよいか明確になり、スムーズに学習問題を作ることができた。
珠洲市立直小学校	まあまあ進んでいる	職員が積極的に端末を活用している。	Classroomを活用し、資料や写真を見せながら各学級の実践の報告を行った。	各教科でClassroomを作成し、活用してもらった。それによりClassroom内に実践の記録が残し、報告や共有がしやすかった。	5年生の国語の授業で、報告文の作成にGoogleドキュメントを用いた。インターネットで調べたことの引用や写真を取り入れる事が容易であった。また、共同編集機能を使って互いに助言することができた。細かい修正などもしやすく、よりよい報告文の作成につながった。
珠洲市立若山小学校	進んでいる	職員が意欲的で、協力して進めてくれている。	Googleや学習ソフトの基本的な操作について共通理解を図ったこと。	フォームによるアンケートやミーティングでの集会などを繰り返し行ったことで、全校児童が基本的な操作に慣れることができた。	共同編集の機能を使うことで、普段は発言することが苦手の消極的な子も、進んで学び合いに参加するようになり、学習がより深まった。
珠洲市立正院小学校	進んでいる	校内研修が毎週決まった曜日に開かれ、職員が集まる機会がしっかりと設けられているため。	chromebookでどのようなことができるのか、実際にformでアンケートや課題を作成したり、Meetを用いて画面の共有をしながら話し合う時間を設けたりするなど、「使える」という意識を持つことができるような研修。		6年生の外国語の授業において自己紹介をする中で、Meetを用いて海外在住の方とリアルタイムで自己紹介をし合った。話し合う中で、「英語を話せるようになってもっと話したい!」という思いを持つ児童が多数おり、外国語を学習することの良さを感じることに繋がったとともに、遠くの人とすぐにつながり交流することができるchromebookの利便性を実感することができた。
珠洲市立蛸島小学校	まあまあ進んでいる	先生方の意欲的に学ぶ姿勢	先生方のクラスルームを作成し、児童にどのように届くのか、児童とって使いやすいものになっているのかを確認したり、Googlemeetの使い方を理解したりした。	タイピングサイトを活用し、ローマ字入力の習熟度を高めた。	6年生の国語の授業でジャムボードを使い意見文を書き、コメント機能で感想を交流することで、感じ方の違いに気付いた。
珠洲市立みさき小学校	まあまあ進んでいる	全職員が実践に協力的で、校内研修での内容を授業で実践しているから。	ドキュメントで実際に児童用のワークシートを作成し、クラスルーム用いてその場で児童端末に配布した。研修時に実際に配布をすることで、その後の授業でも活用するきっかけとなり、定着に結びついた。	校内のアンケートをFormsを用いて行うようにした。それによって、ICT機器に苦手意識がある教員も必ず一人一台端末を使う機会を設けることができた。また、集計分析の効率が上がった。	3年生の道徳の授業の導入で、「きまり」について意識調査を行う場面で、Foemsを用いてアンケートを行った。その結果をAIテキストマイニングを用いて児童に提示した。それにより、短い時間で視覚的に分かりやすく、自分たちの「きまり」についての捉えを確認することができた。
石川県立金沢錦丘中学校	まあまあ進んでいる	多忙な中で計画的に進まないことがあるため。	個別対応を先生ごとに行うこと。		
加賀市立錦城中学校	進んでいる	全教職員が前向きに研修に取り組んでいるから。また、計画通りに研修を行う時間を確保できているから。	全教職員がタブレット端末を活用した授業の指導案を持ち寄り、競技する機会を設けたこと	理科の教科部会で、授業のあとの黒板の写真を撮ってクラスルームにあげている。それにより、生徒が復習できるようになった。また、実験の結果を撮影し、共有することで考察しやすくなった。考察内容をGoogleJamboardを用いてグループにまとめることで、考えを持つことができ、その後の考えの表現も活発になった。	音楽の合唱の授業において、自分の歌声をタブレット端末を用いて録音し視聴することで歌声を改善しようとする意欲の向上につながった。
加賀市立橋立中学校	まあまあ進んでいる	1学期の実践により、ICT機器を使用した授業が一般的になってきたから	日々の授業交流を積極的に行う。	振り返りの場面で、授業のまとめや振り返りをフォームを活用している。	体育の授業で、Jamboardを活用し望ましい生活習慣・食生活の形成に向け必要なことをグループで交流し、発表を行った。同じ画面で意見を共有し、構成していく過程が分かりやすい。
加賀市立片山津中学校	まあまあ進んでいる	校長、教頭、教務が積極的に取り組みを行っているため	若プロでの強制的に授業動画作成をすること。	情報モラルについての共通理解	2年生の総合で観光地について一人一人がGoogleプレゼンテーションを用いて資料を作成することで、使い方が向上した
加賀市立東和中学校	あまり進んでいない	時間がない	日常的な情報交換	授業の振り返りをGoogleフォームで行い、クラスで共有することにした。他者を意識して授業を振り返ることができた。	理科の授業で、Jamboardを使って意見の交流をした。普段、発表できない生徒も気軽に付箋に書いて投稿することで、主体的な学びにつながった。
加賀市立山代中学校	まあまあ進んでいる	研修や参観授業等は行っているが、コロナの関係により、全校一斉での情報モラルに関する講義等が行えていないため。	Meetによる遠隔授業の方法	学校全体で毎時間の取り組みがわかる振り返りシートを作成し、全ての教科で毎時間振り返るようにした。それによって生徒が自身の学びを振り返られるようになり、プリントの紛失等がなくなった。	学活で学級会を行う際に、Jamboardに思考ツール「Yチャート」を貼り付け、付箋機能やペンの機能を用いて意見を出し合った。それにより思考ツールの活用方法について知ったり、意見を見やすく整理したりすることができた。
加賀市立山中中学校	まあまあ進んでいる	定期的にGIGA校内研修会を設定し、行っているため	メンテメーターを用いた、意見共有	学校の取り組みで、2週間に1度の自分の生活を振り返る場面で、グラフが伸びていくようなスプレッドシートを作成した。生徒も先生も視覚的に自分の活動や身に付いた力を振り返ることができるようになった。	2年道徳の時間にジャムボードを用いた話し合い活動を行った。対面での話し合いの必要がなくなったので感染症対策とともに、発言できないような生徒も文章での参加なので、活発な話し合い活動になった。
小松市立芦城中学校	あまり進んでいない	研修時間が確保できない。	若手のICT活用における意識の向上		
小松市立丸内中学校	あまり進んでいない	校内研修を定期的に行えないこと。苦手意識や必要性を感じていない教員が多い。	操作方法を先生役（教員機）と生徒機（生徒機）に分かれて、タブレット端末の使える操作できることを確認し合ったこと。若手教員（若プロ）と短時間（30分程度）にぎゅくばらんに話し合える機会を設けたことにより、研修が深まった。	朝学習にAI携帯端末（Qubena）取り入れ、週に2回程度用いること（2学期以降の取り組みですが）。	1年生の国語の授業でSKY MENU Class(マッピング機能)を用いて、自分の考えを整理するツールとして用いた。そのことにより、自分のテーマを明確にすることができた。 3年生の社会科の授業でSKY MENU Class(ポジショニング機能)を用いて、課題に対するクラス全体の様子を把握した(賛成・反対)コメント機能も用いたことにより、瞬時にクラス全員の意見を確認し、意見交流を行うことができた。
小松市立松陽中学校	まあまあ進んでいる	各教員がタブレット端末を積極的に取り入れ工夫しながら使っているため	Zoomを各教員が使えるように使い方を研修した。	新型コロナウイルス感染症で3学年同時に集まることができなくなり、始業式や行事などのようすを配信し、子供たちへ同時に伝えることができた。	各教科や総合的な学習の時間などで、調べ学習をし、自分でまとめ、班の中で交流し、全体で交流する場面を設けることができ。生徒一人一人の発表スキルなどが上達した。
小松市立御幸中学校	まあまあ進んでいる	話し合い活動のスタイルを確立する際に、自分の意見をメモしたり、それぞれの意見を共有し合う場面で意欲的に取り組む生徒が増えてきた。本校の今後の重点的な取り組みとして進めていく中で必要不可欠になってきた。	授業互見週間での若手教員のICT活用の推進	話し合い活動で、小グループを作り付箋にキーワードを書き込み、記録者に付箋を集めさせる。各班（グループ）の発表では、どの生徒も集まったキーワードからまとめられるようになった。	自分以外の意見を視覚的に捉えやすくなった。
小松市立南部中学校	まあまあ進んでいる	教員による研修時間が確保されている	多くの先生がパソコンを導入することができたこと	教員同士の研修	たくさんさんの意見を共有することができた
小松市立国府中学校	あまり進んでいない	勸進帳の取り組みや、計画訪問が2学期に集中してしまい、夏休みに研修する予定が取れなかった。生徒会で、タブレットを取り扱うルールの集会を行おうとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、集会が中止になってしまった。	まだ、授業実践やショートミーティング以外の校内研修を行っていないので、今後に行う予定です。	先生方が自ら進んでPCを使用した授業を行ってくれていること。	3年生の総合の授業で、PowerPoint使用し、調べた内容をまとめる学習で、生徒同士が教え合いをし、生徒のスキルが向上している様子が見られた。
小松市立中海中学校	まあまあ進んでいる	規模も小さく、情報共有や相談などがしやすいため	先生方からよくある質問について、対処方法やプラスαの情報を共有したことで、	毎朝の健康観察にタブレットを活用することで、タブレットの準備・片付けなど切り替えがスムーズにできるようになった。	個人の考えをタブレットにまとめ、それをグループ交流に活用することで、スムーズな意見交流につながった。
小松市立安宅中学校	まあまあ進んでいる	積極的に使用している先生が一定数いるため	Qubenaというソフトの研修		
小松市立板津中学校	まあまあ進んでいる	教務主任と研究主任とGIGAスクール担当とで連携し、研修の日程を設定していること。しかし学校としての研修の場は設けることができているが、日常的に教科部会を開いたり、授業を参観したりする時間が十分に確保することができていない。	デジタルコンテンツの活用方法に関する研修	AI型学習コンテンツを授業の適応問題として利用すると、子供たちが意欲的に取り組んでいた。	中学1年生の授業の規則性に関わる問題を考える中で、ノート機能を用いて図形をどのように見て考えたか図示し、共有した。それによって図を用いて説明できたり、図を基に質問したりしてコミュニケーションが活発になり、考えが深まった。
能美市立根上中学校	進んでいる	とにかく使ってみようという意識が浸透していること。	実際に生徒相手の授業を見もらうことで、ICT活用のイメージを共通認識できた。授業整理会もICTを活用して行った。		
能美市立寺井中学校	進んでいる	月1回研修を行うこと。先行している先生の実践例を共有できた。	先行事例の共有		
能美市立辰口中学校	進んでいる	教職員集団の前向きな雰囲気	ミライシード（オクリンクとムーブノート）、Jamboard活用の研修	全校生徒が参加する学校行事（全校集会など）で「Meet」を使用することで、先生方に意識的にICTを使う機会を設けたこと	チャレンジ期1の国語の授業実践を校内で改めて共有したこと
川北町立川北中学校	あまり進んでいない	きっちりとした時間をとることがなかなか難しい	クラスルームなど、基本的な操作方法について生徒もともに学習会を行った。		
白山市立松任中学校	まあまあ進んでいる	学校での授業改善の研究推進委員会のメンバーが、学校生活における端末利用に前向きで、教科部会や学年会単位で、研修を進めていくことができるが、一部どうしても消極的な人がいる。	Teams、Forms、eライブラリ、SKY MENU CLOUDといったソフトの使い方の研修を行い、実際の使い方や使う場面などを紹介したところ、利用する先生が増えた。「実際にこういった場面でこのように利用すると、先生の負担が減る」ということに気づかせることができれば、利用する先生が増えていくと感じた。特にFormsについては、校内におけるアンケートの集計は、ほぼパソコンで行うようになり、準備時間や集計時間が大幅に削減されつつある。	校内におけるアンケートで、簡単なものであってもFormsを使うことを共通実践として行った。その結果、端末利用に対する抵抗感が、生徒と教師ともに薄れていった。	eライブラリによる小テストの実践。音楽科の時間における作曲アプリの利用。社会科におけるプレゼンテーションの作成。どれにおいても、生徒の個々に応じた指導ができた。特に作曲やプレゼンテーションでは、「あくまでPCはツール」という意識が増加し、「作ること」ではなく「発表すること」という目的をもって制作できた。
白山市立北星中学校	まあまあ進んでいる	先生方が積極的に活用してみようという雰囲気をつくること	端末を手元に置き、一緒に操作しながらする形態の研修。	コロナ対応により、全校集会の代わりに校内でネット会議システムを利用しているが、その担当者交代しながら実際にやってもらうことにより、「誰かだけ」ではなく使用できる人を増やしている。	ワークシートを各自の端末で撮影し、授業者に送信することで、授業者がワークシートを評価している間も生徒自身の手元にワークシートがあるため、授業後も継続して復習したり考えを深めたりすることができた。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
白山市立光野中学校	あまり進んでいない	コロナウイルス蔓延防止の影響で、学校全体での研修が中止になったため	コロナウイルス感染防止のため、まだ学校全体での校内研修はできていない	生徒や先生方へのアンケートをGIGA端末を使用して行った。それによって、アンケート集計の時間が大幅に減少し、集計結果も即時分かるようになった。	2年生の数学の授業で、GIGA端末を使ってグラフを作成した。それにより、苦手な生徒も意欲的に取り組む姿が見られた。 2年生の英語の授業で、GIGA端末を使って、読んだ英文のタイトルと画像を付ける活動を行った。また、授業の最後にクラス全体で生徒の画面を共有した。それにより、日本語に訳して読むのではなく、英文の内容をイメージで共有し、学び合いの場が設けられた。
白山市立笠間中学校	まあまあ進んでいる	年度当初の計画に基づき、推進できているため	取り組みの成果と課題の共有	各教科、まず試してみることを前提に、前向きにチャレンジできていること	チームズのオンライン機能を用いて、特別活動の時間に行った「クラス対抗クイズ大会」により、コロナ禍で制限がある学校生活の中で、子ども達が大きに盛り上げられたこと
白山市立美川中学校	まあまあ進んでいる	現状を踏まえ、予定を変更したから	GIGA端末を用いての研修		
白山市立鶴来中学校	あまり進んでいない	業務の重なり	自分自身の成長	職員打ち合わせでの活用	意見の集約
白山市立北辰中学校	進んでいる	GIGA担当のやる気と、良好な職員の受け入れ体制。	Teamsを用いたビデオ通話。		
白山市立鳥越中学校	まあまあ進んでいる	実践内容を共有したり、アプリやソフトの活用のための研修会を実施したりしたため。	Teams、Forms、Microsoft Whiteboardの使い方研修や使用実践の紹介研修	特になし	社会科の授業で、個々のまとめを端末で撮影し、Teamsで共有した。それによって、他の生徒のまとめにコメントを入れたり、いいねを付けたり、自分のまとめを加筆・修正するという活動につながった。
白山市立白嶺中学校	あまり進んでいない	GIGA端末の必要性が伝わらず、ICTの利用でとどまってしまう。	小中合同での研修会を行ったこと。小学校での使用例の紹介など		音楽の授業で、ヘッドホンを利用して個別に音楽鑑賞をすることで、自分のタイミングで鑑賞をすることができる。
野々市市立野々市中学校	まあまあ進んでいる	先生方の好奇心	突発的・自主的に職員室内で発生するもの。授業での具体的な使い方をシェアする内容が多いです。	なし。	道徳でスプレッドシートを使って同時に考えを記入することで、伝え合いや発表と比較して時間当たりの情報量が格段に増え、多面的な考えをしやすくなった。
野々市市立布水中学校	まあまあ進んでいる	全体研修は計画通り実施できたが、ICTが苦手な教員に対する個別の研修がまだ実施できていないこと。	全体研修で、Jamboardの使い方をICTサポーターに教えてもらった。他者の意見を知り、理解を深めたり、情報整理に活かしたりするので、授業で使ってみようと思う教員が多かった。2学期に入り、実際にいくつかの授業で活用することができた。	夏休みの学年登校日をオンラインで実施した。不登校傾向の生徒も参加することができたのは、効果が大きいと思われる。	
津幡町立津幡中学校	進んでいる	推進リーダーの働きにより、教員が積極的にICTの活用に取り組む体制を構築することができた。	全教員が1学期中にPC端末をどのように活用したかを発表したり、その場でアプリを使ってみたりした。	学校訪問の研究授業で、全教員がICT機器の活用するようになった。	・道徳を含めた複数教科で各自の意見や作文等を投稿することで、考えを共有したり、良いところを参考にしたりすることができた。 ・英語の授業でFormsでアンケートをしたり、英作文を行う際、英語で音声入力させた。
津幡町立津幡南中学校	まあまあ進んでいる	研修動画視聴の時間を定め、全体で研修を行ったこと。	GIGA通信の発行	HRでの伝達事項をまとめたスライドを共有することで、連絡漏れがなくなり、全クラス統一した指導が行うことができるようになった。	1年生の道徳の授業で、学習支援ソフトを活用し、意見を送らせた。それをソフト上で集約、分析することで、様々な意見を共有し、まとめることができた。
内灘町立内灘中学校	まあまあ進んでいる	ほとんどの先生がChromebookを使った授業を最低1回はやってくれているようだからです。また、積極的に使用している先生も若い方の中で増えています。	Classroomを使って一斉に生徒に情報を共有する方法です。これによりいろいろな授業で使用しやすくなりました。	これまで紙に印刷していた資料を無くし、全てGmailのChat機能で先生方への連絡を済ませるようにしていることです。その結果紙の資料の印刷業務がなくなり、意思疎通がより図られるようになりました。GoogleFormsによるアンケート集計も、生徒も先生も負担が減ってとても楽になっています。	例と似ていますが、自分の意見を従来の挙手した生徒のみに求めていましたが、Jamboardやスプレッドシートで自由に書き込めるようにした結果、これまで授業や話し合い活動に中々参加できなかった生徒も参加するようになりました。ミライシードのオクリンクを使って思考を深める授業ができるようになった。
かほく市立高松中学校	まあまあ進んでいる	校内研修会を行ったことで、1学期中、タブレット端末を活用した授業が多く見られたから	ミライシード（オクリンク、ムーブノート等）の操作方法を校内研修会でレクチャーしたこと	特別な教科 道徳に関してGIGAサポを行った。担任だけでなく、級外も非常に勉強になったという声が多かった	2年生の社会科の授業で、説得力のある説明（話し合い活動、発表）ができた。そのプレゼン資料をもとにレポートを作成した。とてもわかりやすいレポートが多かった。
かほく市立河北台中学校	進んでいる	職員全体がオープンな雰囲気であり、全員が積極的に端末を使うとしていること。若手、ベテランを問わずお互いに知っていることを共有できる垣根のない環境が築かれていること。	・夏休み中の「若プロ」で、各先生の取り組みを共有したこと。	連絡事項を職員のクラスルームに書いて共有している。これにより、職員朝礼での時間短縮につながった。	英語科でこれまで行っていた「パフォーマンステスト（話すこと）」を1人1台端末で行うことにした。これまで2時間程度かかっていたが、10分程度で完了し、空いた時間で練習や課題分析を行えるようになった。
かほく市立宇ノ気中学校	まあまあ進んでいる	所属学校の先生方の積極的な協力	なぜGIGAスクールが必要なのか	アンケートのフォーム利用	実験を動画撮影することで繰り返し考察することができた。
宝達志水町立宝達中学校	進んでいる	学校研究と関連付けながらタブレット活用を進められていること、タブレットの活用を進めていこうとする教員が多いこと	スクールサポーターとタイアップしたICT研修会	今年度の学校研究の重点として、授業のまとめ場面でのタブレット活用を進めた。それによって、本時をよりよくふり返る習慣がついてきた。	2年生の社会科の授業で、スライド機能を使ってレポートを作成した。資料を様々な視点から読みとっていることを全体で共有することができた。
志賀町立志賀中学校	進んでいる	志賀町GIGAスクール推進会議があること、教育委員会の方も含めて、現場の悩みや困りごとを共有でき、学校に持ち帰って職員に解決策の提案ができています。オンラインGIGA報告会では、町全体で教員も児童生徒も、活用スキルがステップアップしている様子が伝わり、教員の意欲も向上した。	職員室で困りごとをどんどん共有する。いいアイデアを持っている先生がいたら、「それ便利！すごい！私もやりたい！」と大きな声で言うことです。正直、特別な研修会を開いても、1回で覚えて使える人はほとんどいませんでした。やる気のある先生ほど、これどうすればいい？さっきの授業でやってみただけ、失敗したわ！なんでできなかったんけ？と聞いてくれます。職員室でそんな話をしていると、どれどれ？と興味のある先生が輪になっていきます。そんな積み重ねが一番効果的な時間に感じます。	単元末振り返りアンケートの型を推進教師がつくり、教科ごとに編集して行ったことで、アンケートの作成・集計の手間が短縮された。	3年生の「花の街」の授業で、曲に込められた思いや願いを考える場面で、ミライシードのムーブノートで考えをみんなの広場に送って共有した。普段発言の少ない生徒の声も共有できた。それにより、本時の振り返りでは、「自分にはない考えに気づけた」「話し合いが楽しかった。」「理解が深まり、歌い方が最初と最後で変わった」との声が多かった。
志賀町立富来中学校	進んでいる	管理職はじめ、校内の先生方が積極的に取り組んでくださっているため	活用方法検討会	学習の振り返りアンケートの実施	1年生の数学で、統計データを実験によって集め分析する際に表計算ソフトを用いることで、考えることに焦点化した授業がスムーズに展開できた。
羽咋市立羽咋中学校	まあまあ進んでいる	先生方が積極的に活用しようとしており、職員室の中で活発に情報交換している。	職員会議後のミニ交流会	学校全体で授業の振り返りを端末を利用して行った。それによって、教師がすぐに生徒の記述を把握できたり、友達の振り返りをすぐに知ることができた。	Googleのジャムボードの背景を変え、まなボードのように使用した。1人に対して複数枚のワークシートの配付が可能で、発表の際の全体への共有が簡単である。また、グループ活動でもそれぞれの端末操作で活動ができる点もよかった。
羽咋市立邑知中学校	まあまあ進んでいる	各教科担当の先生方は意欲的に実践を行ってくれているが、共有する時間を十分に確保できていないから。	各アプリケーションの具体的な使用方法を全員で共有する。	教師全員が授業や行事等で意欲的に使用してくれた結果、生徒自ら委員会活動や総合的学習の時間でPCを使いたいという声を上げてくるようになった。	数学の授業で、ミライシードのオクリンクをつかい、いろいろな考えを生徒同士で共有しながら深めることができた。
中能登町立中能登中学校	まあまあ進んでいる	前述のように、取り組みが少しずつでもできている。	発表ノートで生徒の考えを一覧で表示したり、個人のを提示する	校内研修を毎月職員会議に組み込み、行った。	技術家庭科の技術科で、栽培記録を記録して提出する
七尾市立七尾中学校	まあまあ進んでいる	道徳教育推進事業推進校であるため職員の意識が高まっている	研究授業で端末の活用例を共有・協議した	アンケート結果をクラスで共有した。それによって、他の生徒が何を考えているか、生徒自身が視覚的に認知することができた。	3年生の数学の授業で、多くの生徒の解法を短時間で共有できる。それにより、新たな視点に気づくことにつながった。
七尾市立七尾東部中学校	まあまあ進んでいる	管理職、教務、研究主任、教科主任などとGIGA校内研修推進リーダーがともに連携しながら、研修を行っているから。	研究授業に向けた模擬授業を若プロ主体で行い、授業研究と併行して端末の有効活用について協議した。研究授業では、全教員で参観後に授業整理会を行い、授業における端末利用について、全教員に共通理解することができた。	各種アンケートを生徒の端末から行うことで、以前は煩雑であった集計・分析の作業の効率化を図ることができ、業務改善につながった。	2年生の理科の授業で、実験の様子を端末を用いて撮影した。その動画を繰り返し観ることで実験の考察を行うことができた。また、実験の画像データを用いて、生徒の端末で発表資料を作成し、全体へ発表することで、学習課題のまとめにつながった。
七尾市立能登香島中学校	まあまあ進んでいる	研修体制が整っている。生徒も先生方も一人一台端末に「使う・慣れる」ことが出来ており、授業の中でも効果的に活用することが出来ているから。	「ムーブノート」「オクリンク」の活用に関する研修	「eライブラリ」「ドリルパーク」から課題（宿題）を出し、期限内に取り組ませることで、基礎基本の定着を図った。	社会の授業で、秀吉が全国で太閤検地を行った理由を考える際、「ムーブノート」内の「広場」を活用したことで、他者の考えを参考にしながら考えを持てるようになったり、類似点や相違点を確認したりしたことで、課題に対する答えを練り上げることができた。
七尾市立中島中学校	まあまあ進んでいる	学校研究と関連付けたい取組をおこなっているため	授業で活用するアプリケーションの基本的な使用方法の研修。	授業中どこかの場面でICTの活用をするようにした。それによって先生方のICTへの敷居が低くなり活用の広がりが生まれた。	2年生国語の、自作の枕草子を作成する際に利用。その内容に合った画像をネットから探して貼り付けることで視覚的にも楽しめる作品ができあがり、楽しく学習ができた。
能登町立柳田中学校	まあまあ進んでいる	職員間でコミュニケーションをとって課題を解決し、ICTを使う場面が増えたから。（授業、事務どちらも）生徒も職員も使う場面が増えたから。	アンケート機能の研修。作成と集計ができるようになり、多くの場面で活用できている。	健康観察や、体温、就寝時間、勉強時間などを登校後、クロムブックで入力するようになり記録忘れがなくなったことや、体調をすぐに把握できるようになった。また、集計するものの処理時間が短縮された。	国語の詩や俳句の作品鑑賞の際に1つのドキュメントを共有使用することで、すぐに鑑賞できるようになり、時間を有効に使えるようになった。
能登町立能都中学校	まあまあ進んでいる	多くの教員の方々がGIGA担当からの実践に積極的にかかわってくれているが、まだ苦手感をぬぐえていない教員もいるように感じるから。	取り組み実践の動画作成 実践内容のお便り発行	総合的な学習の時間に、修学旅行の計画をスライドを活用して行った。発表までを継続的に取り組んだが、日に日に生徒たちがタブレットを使いこなす様子が上達していた。	3年生の理科の授業で、塩酸の電気分解（実験）を行う際に、実験の様子をタブレットで録画させた。レポート作成の際に、見返すよう指導してみると、ちゃんと観察していたようで、できていなかったことに気づけていた様子だった。（あ！確かにそうなる！というような声があがった）理科の実験では、結果を正しく（事実のみを）まとめることが大切になるので、目の前で起きていたことを、再び確認できるのはとても有効だと感じた。
能登町立小木中学校	まあまあ進んでいる	各教員が積極的にICTを使用するようになったから。	空き時間を利用した研修	PC端末への振り返りの記入	体育のバレーボールの授業で、得点がどのように入ったかをPCに記入してゲーム分析をできるよう工夫したことで、チームの課題を克服するような話し合いができた。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
能登町立松波中学校	進んでいる	・概ね計画通りに定期的に研修を行い情報の共有や、操作方法のスキルを高めることができた。 ・GIGAサポート研修を活用した研究授業を行うことができた。	GIGA研修サポートを活用した校内研修（研究授業）	・Google上で教職員用の連絡ノートを作成した。それによって、連絡事項の効率的な共有につながった。 ・若プロでの研修をもとに、養護教諭、栄養教諭がオンラインを活用し、指導に生かした。	3年生の国語の授業で、物語の考察を行う場面で、ジャムボードを用いてお互いの意見を全員が共有できるようになり、効果的に話し合いの場を持つことが出来た。それにより、グループでの活動の際に多様な意見にふれることができ、考えを深める事ができた。
穴水町立穴水中学校	あまり進んでいない	①環境の整備が当初の予定より遅れたため。 ②今年度道徳の研究発表があり、道徳研究の校内研修との兼ね合いからGIGA校内研修の時間が十分に確保できていないため。	毎週金曜の朝読書の時間をGIGAの時間として、全校生徒、全教職員で操作の方法等を演習形式で実施した。		2年生の数学の授業で、数量関係を捉えやすくするためにスプレッドシートの表計算機能を活用した。具体的な場面を容易に調べることができ、全員が数量関係を捉えることができた。
輪島市立輪島中学校	まあまあ進んでいる	学年ごとに理解が進んでいる人が教えてくれている。	デモンストレーションをして便利さを実感させることが効果があった。	個人が作成したものを共有しより良いものに作り替えた。共同編集をすることでペーパーレス化できたことがあった。	保健体育で保健の授業で振り返りをフォームで提出させたことで学習の理解度が分かった。動画や資料をクラスルームで配布することで好きなタイミングで見ることができた。
輪島市立東陽中学校	まあまあ進んでいる	本校の多くの教職員がChromebookを活用した授業を行っているから。しかし、全職員がスキル面も含めてChromebookを使いこなせているわけではないため誰一人取り残さないという目標達成のためにさらなる努力が必要と考えるから。	校内で自由に授業を参観できる仕組みを整え、各教科でどのような活用を行っているか見える化した。その結果、各教科で取り組めそうな実践を行う動きが見られ、結果的に校内の多くの先生がChromebookを活用するようになった。	Google for Educationのアプリケーションで利用できる共有機能を意識して使うことで生徒の考えが以前より全体に共有されるようになった。また効率的に授業を進める点でも効果があった。	社会科の授業では、以前まで、資料から読み取れる事実を黒板に列挙して、教師主導で深めていく授業を行うこともあった。しかし、Google ClassroomとGoogle Jamboardを使用することでGoogle Jamboardに思考ツールを挿入し、共有機能を使うことで生徒自身が考えを整理して、深めることができるようになった。そのため、ねらいに迫った授業を展開することができるようになった。
輪島市立門前中学校	まあまあ進んでいる	毎月の職員会議で校内研修の時間が確保できた。	共同編集機能（スプレッドシート）の授業内での具体的な活用方法を示した。		理科の授業で、実験の結果を撮影することで前後の変化を考えることができた。
珠洲市立緑丘中学校	進んでいる	校内研修の機会だけでなく、普段からいつでもどこでも情報を共有するようにしている。	緑丘中学校授業スタイルに合わせたPC端末の活用（1時間の授業の流れを紹介した）。	・授業のふりかえりをPC端末で行った。 ・夏季休業中の健康観察を持ち帰ったPC端末でさせたこと。	・課題に対する考えをフォームに入力させることで、全員が自分の考えを持った状態で考えを深めることができた。 ・入力された自分の考えを学級全体で共有することで、自分の考えを深めることができた。 ・前時の「まとめ」や「ふりかえり」を次時の導入で共有しながら、その時間の課題を生徒と一緒に作ることができるようになった。
珠洲市立三崎中学校	まあまあ進んでいる	各自で実践し、定期的に校内研修を行い、実践を共有しているから。	クラスルームやジャムボードを使って、試しに活動し、授業への活かし方を考えたこと。	クラスルームの中で動画を配信したこと。保護者の要望に応じて、GIGA研修会を行って、好評だったこと。（子供たちに求められる力について理解してもらった）	音楽で、旋律づくりでアプリを使って自分の旋律を試し、聞き合い、練り上げることができた。
小松市立松東みどり学園	進んでいる	ICTを活用した授業づくりが学校研究でもあり、管理職や研究主任、情報担当などが協力して推進する場を設定できているから	先生方が普段している取組を紙に書き、それを印刷し全職員に配布することで、それをきっかけに、授業でどのようにPC端末を使用しているかを交流することができた。また、別の機会にはその活用例を実際のPCを使ってGIGA担当が紹介した。	アルファベットや英単語を学習するソフトを全児童のPCにインストールすることで低学年でも楽しくアルファベットを学習することができている。	6年生の算数の授業で、自力解決の後の集団解決で、複数の子ども達の考えをスクリーンに映した。それにより、共通点や相違点を簡単に比較することができ、学びを広げたり、深めたりすることができた。
珠洲市立宝立小中学校	まあまあ進んでいる	児童生徒の目指す姿が、1月末の総合的な学習の時間の発表会に設定しあり、目標が明確であるため。	使い方に不安がある教師は誰に質問するとよいか、明らかにした。	クラスルームを用いて、委員会や授業で扱ったデジタルデータの共同編集を行った。	9年生の理科の授業で、生徒が単元のまとめをスライドを用いてまとめた。図や画像を簡単に挿入できるのでわかりやすくまとめることができた。
珠洲市立大谷小中学校	あまり進んでいない	実際にタブレット端末を活用してみて、4月当初に計画した校内研修とは違う形で研修を持つことが多いので、計画とは違った手段で進んでいます。	ペアになって生徒役と教師役に分かれ、Google Classroomでの課題配布から採点、提出までの流れを演習しました。生徒側の画面の雰囲気も共有でき、いい勉強になりました。	全校の先生が道徳の板書を撮影し、その時間の子ども達の振り返りと合わせてデータ化して掲示する取り組みを始めました。まだ始めたばかりですが、児童生徒・教員それぞれがその掲示物を見ることで、授業改善や学びの主体化など、様々なプラスの効果があることを期待しています。	6年生の社会科の授業で、裁判員制度について自分の考えを持つ活動をジャムボードのアプリを使って実践しました。そのシートに、9年生からも意見を打ち込んでもらうことにより、児童は小規模校ながらも多様な他者の考えを踏まえて考えを広げることができました。
石川県立大聖寺実業高等学校	まあまあ進んでいる	周囲の教職員の協力や意識があること。	職員会議での授業実践の共有や若プロでの授業実践の振り返り研修	オンライン学校行事の実践によって、全クラスや各学年行事においても使用頻度が高まった。	家庭科の実習において、作業内容の説明に動画を使用することで各生徒の作業進度に合わせ、何度でも動画を視聴しながら作業を行うことができた。3密を考慮した教室での作業も行うことができた。
石川県立大聖寺高等学校	まあまあ進んでいる	小さなことから少しずつ取り組んでいるから。	ワークショップ（希望制勉強会）	特になし。	ロイロノート・スクールで生徒の考えを全体で共有することで、授業へのモチベーションがあがった。
石川県立加賀高等学校	まあまあ進んでいる	先生方がGIGA研修において協力的であること	Googleの共有機能・アプリケーション（スプレッドシート、フォーム、Jamboard等）に関する研修。特にGoogleの共有機能は、授業だけでなく校務にも活用。また司書教諭の図書室環境の整備等にも役立っている。	検温の電子化（スプレッドシートとフォームの連携）	3年の学校設定科目「プログラミング基礎」において、普段グループにうまく馴染めない緘黙の生徒が、Jamboardを使用したグループワークで自分の意見を述べ、その意見を整理することでできていた。
石川県立小松商業高等学校	まあまあ進んでいる	計画通りであることと、新たな課題を発見し、追加の研修を入れるなど、計画の改善もしていることが理由です。	1学期終業式をGooglemetで行ったことで、画面のピン留めやマイクのオン・オフの切り替えなどの操作ができるようになった。		「商品開発」でアンケートをフォームで作成し、クラスルームにアップし、回答し合った。回答が容易であること、フィードバックが早く、改善を考えることができたことも紙にはない利点であった。
石川県立小松工業高等学校	まあまあ進んでいる	状況に応じて、対応を変化させている。クロームブックの保管場所を変更するなど。	会議室での集合型の研修に加え、相談リクエストのあった先生の職員室に向いて行う出前サポートは、細かいニーズに応えることができていた。（基本操作の質問から特殊な操作の質問に対応できた）	クロームブックをとにかく授業で使ってみようということ。ジャムボードを使う先生が多く見られた。	グーグルスライドを使って課題研究での学習活動記録することで探究プロセスが整理しやすくなった。ポートフォリオとして生徒も教員も学習の振り返りがしやすくなった。
石川県立小松高等学校	まあまあ進んでいる	若手・中堅の先生を中心に、Chromebook等を活用した授業が行われつつある。	Chromebookを活用した授業実践例が集まりつつある。	授業の振り返りがすぐにできることや、アンケートなどの結果がリアルタイムで分かること等。	3年英語の授業で、あるお題に関する質問文を共有ファイル（スプレッドシート）に各自書き込み、その内容をクラスの生徒全員がすぐに確認できること等。
石川県立小松明峰高等学校	進んでいる	本校の実情に即して無理のないプランを立てていたことと管理職のリーダーシップ。	若プロなど少人数での体験型研修。使用用途毎の希望者研修。	教科や個別で使いたいことを個別で相談してもらい、希望者研修を行った後、教科等で共有してもらった。例えば理科では小テストをGoogleフォームで行いたいという相談があり、Googleフォームの使い方研修、授業サポートを行った後、教科で共有してもらった。その結果、現在本校1年生化学基礎では校内課題テストをGoogleフォームで実施している。	1年英語の授業でドキュメントの共有機能を利用してグループでの英作文リレーを行った。その結果、生徒1人ではあまり意識することができなかったスペルミスやイディオム、前置詞の使い分けをお互い助言しあい確かめることができた。また、単なる英作文の技能にとどまらず英語を道具として表現を行うという意識を育むことに繋がった。
石川県立寺井高等学校	あまり進んでいない	Chromebookの基本的な操作方法等の研修は進んでいる。teamsや共通のクラスルーム等での配信、各職員室での助け合いなどは行われている。しかし、パディシステム（ベテラン教員と若手教員による）では、勤務時間内に相談等を行うことが難しい。年間計画の修正及びパディシステムの改善（教科内のパディへと組み直しなど）が必要である。	若プロとGIGAの連携研修 Chromebookの基本的な操作に関する研修	共通実践は現在ありません。 【今後共通実践を検討している項目】 ・進捗の確認として板書の画像を共有すること、同科目を分担している場合に機能するかと。 ・学校で統一した資料の作成。 ・リフレクションシートの統一。 ・アンケート等の電子化。 ・chrome bookの活用例の共有。 ・生徒たちも教員も1時間の振り返りを実践。 ・授業を録画し、考査前にクラスルームを通じて動画配信+フォームを用いて定期的に配信し、知識の定着を促す。	・数学活用の授業で、総当たり戦とトーナメント戦が何試合あるか数上げる課題だったがjamboardの付箋機能、複製や手書き機能等で工夫して班員同視覚で共有しつつ協働作業できたこと。 ・プレゼンテーションの授業で、「音声入力」を活用し、発表原稿を自分の声で入力した。自身の滑舌や明朗な声を意識しながら、発表原稿を考えることができた。 ・世界の異なるジェスチャーについて調べさせ、共有できた。 ・My Favorite Hero という題で英文を書かせ、Webから写真を貼り付け、教員へ送付させた。英文を添削し直したものを、カラープリンターで印刷し、紙媒体で返却した。 ・英語表現の授業で、5年後の夢が叶った自分や自分を取り巻く環境をイメージして、映像を見せながら、英語で発表をする。リスナーは感想や応援メッセージをジャムボードでコメントする。プレゼンターもリスナーも元気になる活動です。 ・物理の授業で、シミュレーションを使った。可視化して観察でき、理解に繋がった。 ・考査の予想問題を作り、ペア・グループで共有して問題を解いた。 ・好きなヒーローについて英語でA4 1枚書かせて、それをグループで発表した。 ・ALTIにおすすめの国内旅行をスライドで作り、英語でプレゼンした。 ・補習で説明して欲しいところをジャムボードで共有した。 ・ファッション造形基礎の授業で、生徒の作品の写真入りのレポート提出に利用 ・2年生のビジネス基礎の授業で、仕事内容についてネットを活用し、ドキュメントアプリを用いてまとめ提出した。教科書の内容をさらに身近な内容としてとりあげるとともに、将来の進路について考えることにつながった。 ・3年原簿計算で、日々学んでいる帳簿作成についての各企業の帳簿から読み取れるものをドキュメントで作成し、ミーティングで画面共有しながら発表し合うなどした。 ・スポーツ概論の授業で、スライドを使用してプレゼンのための資料作りをした。
石川県立鶴来高等学校	まあまあ進んでいる	中間目標である「全教員が端末の基本的操作を習得する。」について、Chromebookの利用は進んでいないが、GoogleWorkspaceの諸機能を活用して校務運営が代替されはじめているため、ほぼ全職員がその機能の基本的操作は習得できているとい考えられる。	フォームなどの利用についてレベル別（初級）の研修を小規模で複数回開催した。		英語の授業で、英語でSDGsについてプレゼンしていた。見聞きしている生徒の端末でも、発表者のスライドの一部（最低限の英単語の一覧）を表示させておくことで一つの単語への理解に捉われずにプレゼンを聴くことができる。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
石川県立松任高等学校	まあまあ進んでいる	ある程度計画通り進んでいるが、各教科での取り組み、実践報告がまだできていない。8月中は各教員の特休、年休で予定を合わせることに苦労したため。	若手教員早期育成プログラムのメンバーに各課、学年のICT活用リーダーになってもらい、研修を行ってもらったこと。	各課・室の連携強化のためにgoogleチャットを使ってもらった。電話と違い、生徒の前でも情報共有ができるため、相談室と保健室の連携が密になった。	授業とは異なるが、生徒に夏休み中の学習内容を写真で取り、クラスルームにアップしてもらった。様々な教員が評価・コメントを残すことで、モチベーションを下げることなく、生徒が課題に取り組むことができた。
石川県立翠星高等学校	まあまあ進んでいる	少数ではあるが、進んで活用している教員がいるため。	実際にクロムブックを活用して、ペアで操作の確認を行った。	特になし。	3年生の生物の授業のブレインストーミングを行う場面で、ジャムボードを活用することで、ペア活動や全体での共有をスムーズに行うことができた。
野々市明倫高等学校	まあまあ進んでいる	講習会のタイミングを職員会議後に設定したこと	classroomの使い方を基礎から説明することで、多くの先生方に普段の授業にも、遠隔授業等にも活用して頂けるようになったこと。		日常的にスライドを用いて発表をさせたりjamboardを使用して相談させたりすることで自主的に勉強し、主体的に勉強する意欲を喚起している。課題もきちんと出るようになり、成績も向上している。
金沢錦丘高等学校	まあまあ進んでいる	もともと本校では校内の連絡はTeamsで行っていた。1教室1プロジェクトが設置されており、授業でもiPad等のICT利用者が多かったため。	5月中旬に自由参加形式「Chromebookを使ってみようの会」を実施し、特にJamboardのようなすべての教員が利用する可能性があるものを題材とした。6月にセンターの方々を講師とした職員研修会の事前学習になった。本校はGIGA担当を3人おり、校内の教員が気軽に質問できる関係性を作っている。	理科の科会はGoogleドキュメントで行い、リアルタイムで意見入力している。全校集会もMeetを利用し、動画視聴している。	1年生の国語（古典）ではJamboardによる協同作業を行い、生徒たちが意見交換した。2年生の物理ではMentimeterで生徒の考えを把握している。スプレッドシートで実験データを管理し、グラフを自動作成している。
石川県立金沢泉丘高等学校	あまり進んでいない	7月～9月で一度使ってみることにしたが、7月は期末試験後授業が少なく、授業で使うタイミングが少なかったことによる	分かる先生を講師に迎えてのクロムブックの使い方等の全体講習会	(共通実践は、今やっている最中だが)全員が一度使って結果を共有すること	後半にGoogleフォームを使ったことで、その後のグループでの意見交換がより活発になった
石川県立金沢二水高等学校	まあまあ進んでいる	これまでは研修計画に従い進めていたが、2学期以降の「授業での活用」について各教員が前向きに取り組むことに課題を感じているため。	各教室でmeetを利用した学年会や講演会の実施することで、担任や副担任がChromebookの使い方をOJTで前向きに学ぶことができた。	Chromebookを活用した授業の公開が各教科で行われていたが、実際に授業を見ることで具体的なイメージを持つことができた。	2年総合的な探究の時間で、授業のコーディネートをする教員が、一人一台でPCを活用する授業実践を行っている。総合的な探究の時間の授業担当である2年副担任がGoogle for Educationの活用を学んでいる。生徒はPC端末操作に慣れるとともに、資料の作成や発表、お互いの成果物の評価等をPCで行うことができています。
石川県立金沢伏見高等学校	まあまあ進んでいる	使ってみようという積極的な職員が比較的多い	基本的な使い方がわかったことや新しいアプリの使用方法を知ったこと	まだ個別の実践の段階です	3年国語でJamboardを用いて考えの整理ができた
石川県立金沢辰巳丘高等学校	まあまあ進んでいる	少人数グループにすることで、それぞれが積極的に意見交換し、全員が推進者という意識を持つことができています	それぞれの職員室の机にいる助教で、グループごとにJamboardで意見交換や意見集約をした。顔を合わせなくても、協同学習できることを経験できたことで、使ってみたい方が増えた。	特になし	複数の教科で、ロイロノートの課題提出一覧を使って、個人の意見を全体共有している。他者に見られることが増えたため、文章や図を丁寧にわかりやすく書くようになるなど、課題への取り組み方に変化がでてきている。
石川県立金沢商業高等学校	まあまあ進んでいる	・計8回の研修を通して、多くの先生方にグーグルクロムブックの基本操作方法を理解してもらうことができた。 ・teamsを利用した資料配布、連絡などICTを利用した業務の効率化が進んだ。	青山学院中部数学科講師 安藤昇氏が運営しているyoutubeアカウント「GIGAch」は実践的で非常にわかりやすい動画をアップされているので参考になります。		・Googleフォームを利用し、小テストを実施することで問題ごとの正答率がわかり、授業の改善に繋げることができる。
石川県立工業高等学校	まあまあ進んでいる	GoogleClassroomに教員が操作を練習するためのクラスルームを用意し、生徒に対して実際に利用する前に教員が動作の確認をできるようにしたこと、教員がGoogleClassroomを主体的に活用する機会が増えた。	同じgoogleアカウントでログインしても、ブラウザへのログイン、webアプリへのログイン、端末アプリへのログインで、権限の扱いが変わることを説明した。同じ機能のソフトウェアでも、ブラウザのタブごとにログイン情報が変わったり、アプリごとにログイン情報が変わったり、webアプリと端末アプリでは操作や表示が違う点があることを説明した。ソフトウェアの基本操作よりも、操作前に必要な「ログインそのもの」やログイン後の「権限の取り扱い」が大きなハードルになって、その後のソフトウェアの利用を妨げている事例を取り除いた。	GoogleClassroomに教員が操作を練習するためのクラスルームを用意し、生徒に対して実際に利用する前に教員が動作の確認をできるようにした。教員が授業などでGoogle workspace for Educationnを使用する機会があった時にGoogleフォームを使った報告書を提出し、校内で教員同士が実践事例を共有できるようにした。また、校内研修後にもGoogleフォームを使ったアンケートを提出し、教員個々の現状を確認して、きめ細やかな支援ができる仕組みを設けた。	地理A単元「人々の生活と気候」の授業で、生徒は「温帯」「亜寒帯・寒帯」「高山気候・都市気候・異常気象」の3つのグループに分かれてそれぞれの特徴を調べ、GoogleClassroomに投稿された課題にアクセスして発表用スライドの作成を行い、それらを相互に発表してジクソー法のような授業展開をすることで、生徒の協働的な学習を進め単元の理解を深めた。資格検定の指導にGooglclassroomを活用して、本来は集団で対面による指導が中心となるものをリモートで行うことで感染症対策に努め、生徒個々の学習履歴からきめ細やかなサポートをすることで、生徒の学習効率を向上させた。
石川県立金沢桜丘高等学校	まあまあ進んでいる	教員が個人的に「ちょっとやってみる」を重ね、今後の教科としての取り組みへと発展させることが期待できるから。	端末操作の基本とJamboardの使い方の全体研修	Classroomを使い、生徒への連絡や提出物の締切の注意喚起をこまめにするようにした。	家庭科の授業で、調べ学習でのChromebookの活用と、それをまとめた学習内容をクラス全員が閲覧できるようにした。これにより、他の生徒のまとめ方や新しい発見が効率的にできた。
石川県立金沢西高等学校	進んでいる	Google Classroom等を用いた積極的な情報の発信や声掛けを行ってきたこと。	Google Classroomを用いた情報発信、情報共有。(GIGAスクール構想について、Chromebookの活用について、chromebookを用いた授業実践について 等)	・Googleフォームを用いた職員、生徒の健康観察。 ・Googleフォームを用いた生徒の学習時間調査。	3年生の物理の授業で、扱っている物理現象に関する動画を探して閲覧したり、その内容を共有したりする時間をつくった。それにより、単に問題を解けるだけでなく、現象そのものに目を向けたり、その現象に関する他の事例に目を向けて、それらのつながりを考えたりすることへの意識が高まった。
石川県立金沢北陵高等学校	まあまあ進んでいる	管理職の先生のサポートと若い先生方の行動力があるので、推進リーダーとして先導した後に活動が広がっていき、Chromebook活用のアイデアや実践につながっているため。	推進リーダーがChromebookを活用した授業実践を行い、その授業を先生方が参観できる機会を何日か設けた。ここでは展開方法や生徒の活動を実際に観ていただいた。さらに、その授業に対する質問や意見などを受けたり、活用のポイントなどについて報告や整理会を行った。この取り組みで授業展開や活用に関して、各先生方がイメージを持つことができた。	朝学習の一環として、教科の学習に限らず、時事・社会問題などについて考える問題を出題し、自分の意見を書く取り組みを行っており、それをGoogle Formsで作成し、生徒に解答してもらい、提出された意見をまとめて生徒へのフィードバックを行った。(Chromebookの台数が足りないので1回につき1クラスなどで行った)また、夏休み中には、全学年オンラインSTをClassroomで行い、その際に朝学習を行い、生徒の解答をフィードバックした。これらを行うことで、提出してからフィードバックするまでが素早くできるので、内容を覚えているうちに他の生徒の意見を読むことで多面的思考力の育成につながっていると感じた。	2年生の物理基礎の授業において、生徒がスライドを用いて実験結果や考察について発表を行い、さらに聞いていた生徒はコメント機能を用いて質問や疑問、気付いたことなどをコメントし合った。その際の生徒の気付きからその後の展開や発表における着眼点が定まり、更なる生徒の気付きへとつながったこと。(生徒の気付きの連鎖が起こっていったことで、学びが深化した。)
石川県立金沢向陽高等学校	進んでいる	各自のペースで進めることができるため。	クロムブックを全職員に配布することによって体験してもらったこと		
石川県立内灘高等学校	進んでいる	端末活用に関心のある教員が積極的に情報交換や意見共有をしてくれるから。	1人1台利用して、1種のアプリに関する研修を行うこと。教員間での協働学習や発展学習が見られ、研修リーダーによる研修というよりも全員で協力する研修という形式となって、活用率のさらなる向上につながった。	できる限りのアンケートをformを活用して行ったこと。作業効率が非常に高まった。	様々な授業で、生徒の意見をformで集約したこと。普段意見できない生徒が意見できたことに加え、その場で結果を提示することで、他者の意見との比較や意見共有をスムーズに行うことができた。
石川県立津幡高等学校	まあまあ進んでいる	校内研修後、授業等でクロムブックを使用する教員が増えたから	共有ドライブの使い方、クラスルームでの課題の出し方	・授業の動画をクロムブックで撮影し、クラスルームに挙げた。欠席者にその授業の動画を見ておくように指示したことで、理解の遅れが無かった。 ・就職対象者の企業ガイダンスにおいて、企業からの紹介動画をクロムブックを使って視聴した。動作が遅いため、スムーズな視聴ができた。	夏休みに3年生の就職者の履歴書作成において、グーグルドキュメントで下書きをして、教員とデータを共有することで、紙の節約や時間短縮ができた。また、その場ですぐに添削ができた。さらに、自宅からも送れるので学校にいかなくても作業ができた。
石川県立羽咋高等学校	進んでいる	多くの教員が前向きに取り組んでくれること	Meetを使つての会議	複数教科で活用した内容を定期的に情報交換することで、生徒のスキル習得段階がわかり、計画的に利用内容を定めることができた。	2年化学基礎でロイロノートを用いた小テストや作問を行ったところ、楽しそうに使用する場面も見られた。しかし、それが学習効果につながったかはまだ使用回数も少ないためわからない。
石川県立羽咋工業高等学校	まあまあ進んでいる	chromebookを積極的に活用している先生が複数いることで、先生間で情報共有が進み、授業実践や協議が行われているため。	石川県教員総合研修センターによる出前サポートを行っていただき、chromebookの基本操作を学ぶことができたこと。	先生がchromebookを用いた授業を行った際、取り組みシートを書いて提出することで、他の先生に対して授業実践を共有することができた。	1年生の数学の授業で、不等式を数直線上に表す場面の中で、ロイロノートを用いて生徒の回答を集めた。その後、誤答を拾ってスクリーンに映し出し、どこが不適当か生徒に考えさせたことで、注意するポイントを全生徒で共有することができた。
石川県立宝達高等学校	まあまあ進んでいる	推進委員会内で、効果的な授業での活用について研究中である	Google Jamboard の紹介	formsを利用して、クラスごとに集計するアンケートの実施	数学科において、単元の最後にformsによる確認テストを実施、理解度を授業中即座に確認している。
石川県立志賀高等学校	進んでいる	先生方が推進リーダーに対して協力的。全校生徒が少ない分一人一台端末を使いやすい。	指定された動画を、全員が会議室でイヤホンをして一斉に視聴したこと。先生方が一緒に動画を視聴することで、同じ基礎知識を持ってその後の研修（具体的な操作）に臨むことができた。	時間割変更を画像にしてClassroomに掲載している。それによって、急な時間割変更も生徒に伝わりやすく、時間割を見るためにClassroomを見る習慣がついて、生徒たちがClassroomに馴染むのが早かった。	インターンシップの報告会で、発表の評価を共有のスプレッドシートで行った。全員が入力している様子が見られるため、真面目に評価や感想を書き込むことができたと同時に、後半の生徒たちは評価を意識して発表することができた。
石川県立七尾東雲高等学校	あまり進んでいない	iPadを活用した提示型の授業から一人一台の授業への移行に苦労している。	教職員研修センター講師による授業(数学)実践研修で使う場面のヒントをもらった。	学校全体として、授業の様子を動画で撮りため、そのファイルを共有することを目的としている。実践例として体育の授業において、自分のフォームを撮影して見直すとともに、映像を共有することで他の生徒からアドバイスをもらうことができた。	社会科の授業でClassroomを使った理解度のアンケートを行った。クラス全体の理解度を瞬時に把握するとともに、一人一人の理解度を把握することに役立った。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
石川県立七尾高等学校	進んでいる	本年度は総合訪問もあり、ICTを使用する契機となった。一度使った先生は、他の先生にお勧めするなど波及効果もあり、「最初に使ってみる」という経験が大切であった。	校内研修をもとに、実践した先生方が、近くの席、または同じ教科の先生にやってみた感想やノウハウを直接話すことが最も効果がありました。積極的に空き時間などを利用してよかったことを話し合う場を作っています。	Teams（グループウェア）を利用し、業務の資料や授業のワークシートなどを共有しています。サーバーに保存するよりも今、欲しい情報をすぐに共有できるので便利です。	3年生の探究の授業で、探究の成果報告として各班でポスター発表を行い、撮影した動画を視聴した。この際、校内のそれぞれの場所で視聴した動画のコメントをした。3年生240名が意見を自由に交換し、成果を共有できた。繰り返し視聴したり、コメントを考える時間があったりと、体育館で成果発表を行っているときよりも、質の高い発表と意見交換になった。
石川県立田鶴浜高等学校	まあまあ進んでいる	教員のChromebook活用に関する意欲が高まっているから。	集合研修を行い、実際にChromebookを操作したり、分からないことを教え合ったりしたこと。	体温チェックをGoogleフォームで作成し、生徒はスマホまたはChromebookで回答をする。その後Googleスプレッドシートで集計・共有を行った。それによって、体温チェックを担当する教員の負担が減った。	2年生の保健の授業で、Jamboardで作成したワークシートに各グループで共同編集機能を使って、取り組んだ。そのJamboardを共有したことにより、生徒が他のグループの意見を即時に閲覧できるようになった。
石川県立鹿西高等学校	まあまあ進んでいる	職員会議の場などで研修の機会を設けてくれているため。	とりあえず使ってみた段階での実践事例の共有。各先生が（使ってみた）実践を1つ以上紹介し、ざっくばらんによかったことや課題を共有した。	共通実践としてはまだありません。	ロイロノートを活用して意見や考えを共有する授業が多くなってきている。その中で、今まででなかなか意見を書かない・発表しないような生徒の考えを可視化することができてきた。その中に他の生徒と異なる視点の考えもあり、多様な考え方を共有するきっかけとなった。
県立穴水高等学校	進んでいる	GIGA推進に対し積極的な意見が多く、計画的に進行できているため。	校内ポータルサイトを立ち上げ、情報共有を行えたこと。		
石川県立能登高等学校	あまり進んでいない	1学期中の校内研修は予定通りの範囲であったが、夏休み中の校内研修サポートがコロナの影響により延期となった。	chromebookを実際に使用して、JamboardやGoogleドキュメントの利用法を説明した。		国語科からJamboardやGoogleドキュメントを使ったときの、意見共有のしやすさがよくなったという意見があった。声に出しての発表が苦手な生徒も意見を出すことができることや、ほかの人の意見を見て深められた考えが生徒から出てきた点があった。
石川県立門前高等学校	進んでいる	皆さんが使用して授業改善に役立てようとする意識が高いから	互見授業で他の教員の利用方法を見ることによって、生徒の学力を伸ばすための効果的な使い方を共有できたこと。	探究活動で、生徒と教員がクロムブックを用いることによって、調査結果を共有し、改善点を考えることができるようになった。	ジャムボードを用いているいろいろな意見をリアルタイムに集約でき、自動保存がされるので、次回以降も振り返りが容易に行えるようになった。
石川県立輪島高等学校	まあまあ進んでいる	教育課程研究集会以必要に駆られ、積極的に取り組む教員が増えたため。	Classroomでアンケートを一斉に配布する研修		ポスターを作成する授業でGoogleスライドを用いた。作成したポスターを容易に共有できたり、パソコン教室とは違ってグループワークも取り組めた。
石川県立飯田高等学校	まあまあ進んでいる	積極的に取り組んでいる若手教員がけん引役となっている。	教員向け実践研修（ロールプレイなど）	生徒向けアンケートをForms化することにより、教員の習熟がすすんだ。	3年生の理科の授業で、課題を提示して報告書をつくる形態をとったら、受け身ではなく能動的な学習行動が生まれた。
小松市立高校	まあまあ進んでいる	「教員も生徒もタブレットツールを積極的に利用しようとする」というのが中間目標であり、これがまあまあ達成されているため、「まあまあ進んでいる」を選択した。まあまあ達成できた要因として研修等を通じて活用を促している他に、生徒が1人1台端末を所持していることにより、授業に限らず普段の連絡をタブレットで行ったり、学校行事でもiPadを活用するなど生活の一部になっていることが大きな理由であると考えられる。また、1人1台iPadになる前からiPadを活用していた教員を中心に活用の輪が広がっており、ちょっとした困りことも周囲の教員に気軽に相談できる雰囲気になっていることも大きな理由の1つであると考えられる。	ロイロノートの使い方研修（「生徒の考えを集約し、それを共有する方法について」と「画面共有について」の研修）	学習アプリ（モノグサ）を使って単語学習や小テストを行うようになった結果、黙食時やちょっとしたスキマ時間などでも気軽に英語・古典・漢字・化学などの学習ができるようになった。何よりも生徒が楽しそうに取り組んでいる。	ロイロノートの提出箱を共有することにより、他の生徒の成果物を簡単に見ることができるようになり、自分になかった発想や考え方に触れることができた。また、普段は自信がなさそうにしている生徒も提出した内容についての説明はなぜか堂々と発表してくれる。
石川県立加賀聖城高等学校	まあまあ進んでいる	生徒が抵抗なくICT機器を使って意欲的に授業に参加している。	若手研修と運動させ、職員全体で研修が行えたこと。	学校評価アンケート（生徒・教員）、生徒授業評価アンケートをGoogle formで実施することにより、集計の効率化が図られた。	ジャムボードを利用することによって、グループで意見を集約できるようになった。
石川県立小松北高等学校	まあまあ進んでいる	クロムブックを使用したことのない教員がないこと。	夏季休業中の2回の講習会	互見授業	2年生の国語の授業で詩の鑑賞文を書く場面で、Googleドキュメントの共同編集機能を利用して、共同執筆を行った。一人では書けない分量の文章が書きあがり、生徒は充実感を得ることができた。
石川県立金沢中央高等学校	進んでいる	基本的な事項から取り組んでいるため	クロムブック等のPC端末や各種アプリを実際に触れることで、今後の授業活用イメージをもつことができた。	新型コロナウイルス感染予防の目的で、学年単位の行事・産業社会と人間の授業等を取り組む形式でクラスごとに行うことができた。授業グループ内の生徒の考えを視覚的にまとめさせ、授業にフィードバックすることができた。夜間制では、授業評価アンケートをGoogleフォームを用いて行い、今後の多様な場面でのICT活用を生徒・教員に意識づけることができた。	1年次の「産業社会と人間」の授業で、ジャムボードを利用し生徒の考えをイメージ化することができた。また、それによって得られた結果を授業集団にフィードバックすることで、他の考えと自分の考えを比較する効果があった。
石川県立羽松高等学校	進んでいる	教員の数が少なく、情報共有しやすい、1つの職員室に常駐しているため、職員室を利用して研修ができる。	Googleの各ソフトを使ってみるミニ研修をした上で、先生方にはご自分の授業でどのように活用できるか考えてもらい提出してもらおう。	青春のこだまの原稿をGoogleドキュメントで作成させた。原稿用紙に書くより抵抗なく、考えを表現できた。手直しも簡単で良い。	・答えのない社会的課題について、ロイロノートやJamboardを用い意見を共有し、改めて自分の意見をドキュメントにまとめる。 ・青春のこだまのテーマをロイロノートのシンキングツールを使って考えてみる。 ・他の生徒のいる教室に入ることのできない生徒に対してZoomやmeetを使い交流する。
石川県立七尾城北高等学校	まあまあ進んでいる	定期的に校内研修を行っていることと兼務の家庭科教諭（若手）の授業参観し良いところを取り入れている。	ジャムボード、Googleフォームズなどの使い方研修	ジャムボード、Googleフォームズなどの使い方研修	発言が苦手な生徒もジャムボードにより意見が出しやすくなり、共有ができるようになった。
石川県立輪島高等学校定時制	まあまあ進んでいる	職場が少人数であるため全員での取り組みが行いやすい。	教員どうしの模擬授業		体育や商業の科目で、自分の動き（運動時のフォーム、礼の仕方や姿勢）を動画で確認することで、効果的な振り返りを行うことができた。
石川県立金沢泉丘高等学校通信制課程	まあまあ進んでいる	Google Classroomへの共通理解が深まりつつある。	Google Classroomの利用方法	Google Classroomでの解説等の掲載	生徒用の端末は配付されていないので回答できません。
石川県立盲学校	まあまあ進んでいる	各教職員が年間計画を意識し取り組んでいるため。	ICT機器やオンライン会議ツールの操作マニュアルを作成し、研修を実施することで、予習から実践の流れが確立し、その後の学校間交流などに活用することが出来た。	全校集会を1人1台のiPadを用いて遠隔で開催することで、視覚障害を有する児童生徒の拡大操作が可能となり、より多くの情報を得ることができるようになった。	小学部2年生の国語の授業で、居住地交流校のクラスと「あったらいいな、こんなもの」のテーマでタブレット端末を使用して、イラストとその理由の発表を行った。タブレット端末を使用することで、友達との発表を対面しているように目の前で見聞きできた。友達のいろいろな発表の中から、自分の考えになかったことを容易に聞き取ることができた。離れていても情報の共有やコミュニケーションがとれた。
石川県立ろう学校	まあまあ進んでいる	ICT活用に意欲的な教員が多く、日々の実践や研修などに積極的に取り組んでくれているため。	「GIGA校内研修推進リーダー研修②」で教わってきたことを、研修講座（2か月に1回、希望者対象の校内研修）で実際に端末を操作しながら演習を行う取り組みは、「今後も繰り返し行ってほしい」との声が多かった。	4月当初、各教科部会のTeamを作り（OfficeのTeamsを活用）連絡だけでなく、実践の写真や概要などを気軽に情報共有できるようにしたこと、他学部の取り組みや活用例を知る機会となっている。	中学部の理科では、実験の結果をスプレッドシートに入力するとすぐにグラフが提示される機能を使うことで、これまでグラフを書いていた時間を、グラフの読み取りや考察の時間に充てることができた。
石川県立明和特別支援学校	進んでいる	計画段階から、ある程度具体的に日時や内容を決められたから。	動画編集アプリを使った動画作成やプレゼンテーションアプリを使った学習教材作成を夏季休業を利用して、3時間弱、じっくりと研修することができた。	授業の共通実践ではないが、オンライン会議アプリの使い方（特に参加の仕方）について研修したこと、各種研修会等でオンライン会議に参加することができるようになった。	生活単元学習の「お店屋さんをしよう」において、児童から「レジを使いたい」と要望があり、iPad +keynoteを利用して簡単なレジを作成した。児童のやりがいが高まり、活気ある活動につながった。
石川県立いしかわ特別支援学校	まあまあ進んでいる	GIGA校内研修推進委員と、他部署とが協力・連携する体制をつくったこと、詳しい教員やしてみたい意欲のある教員がいること	GIGA校内研修サポートのiPad研修で、iPadとアプリを使ってすぐに行える操作や機能等を学んだこと（参加できなかった教員にも資料を共有しました）。3段階（入門、初級、中級）に分けてのGoogleアプリの校内研修（Class room、Meet等）をしたこと。	共通実践としての取り組みはまだ事例がありません。現在、できることを模索中です。	知的障害小学部算数の授業で、校内の「形がし、あつめ」をiPadのカメラや写真（編集機能）アプリを用いて実施した。各々が見つけた「まる、さんかく、しかく」を写真を撮って共有（例えば、時計→まる）したり、編集のペン機能でなぞったりして、新しく気付いたことや比べてわかったことを考えたり、表現したりすることにつながった。
石川県立小松瀬瀬特別支援学校	まあまあ進んでいる	これまでも様々な研修機会を設けてICT活用、教材制作に取り組んできたから。	zoom、Google meet、Microsoft teamsを全職員が体験し、使用する際のポイント（気をつける部分）を実体験として学ぶことができた。	運動会や学校間交流等の行事を校内配信して密にならず、児童生徒が参加しやすい方法で参加することができた。	視線入力装置を利用してPCを操作することができた。
石川県立錦城特別支援学校	進んでいる	年度初めに計画したとおりに進めている。	特報連研修会を校内研修に充てて行った「カメラ」と「写真」機能だけを使ったCM作りの研修。アプリの使い方だけでなく、だれもが日常的に使える機能を活動の中に取り入れる視点。		
石川県立小松特別支援学校	進んでいる	関係する課と連携して研修を実施しているから	学部研究会の中で、職員がタブレット端末を使用し、実際に操作しながら研修を行う	学部研究会での意見の出し合いでJamboardを使用。多人数の意見共有が容易に行えた。	小学部4・5年生国語科の授業で、「Numbers」アプリを使ってしりとりを行った。児童が言葉を表現しやすくなるために、児童に応じたキーボード機能を使って文字入力を行った。書字が難しかったり、時間がかかたりする児童が、自分の思いついた言葉を次々と文字入力をして、しりとりの言葉を表現することができた。
石川県立七尾特別支援学校	まあまあ進んでいる	管理職がGIGAスクール構想に理解があるので	実践報告会	教員に対するアンケートをFormsで行った	作成した文章をタブレット端末で読み上げることで、間違いに気付くことができた
石川県立七尾特別支援学校輪島分校	まあまあ進んでいる	GIGA校内研修推進グループに積極的な職員がおり、様々なアプリ等を利用している。また、ベテラン職員同士で教え合ったり、要め合ったり、意欲的に取り組む職員が複数いる。	児童生徒理解の会議で、意見交換の際にjamboardを使用した。アナログでの収集より、たくさんの意見が集まったと感じた。	Formsでのアンケート増えた。回答が早く集まった。集約も簡単にできた。	小学部生活単元学習の授業で「iPadで遊ぼう」を行った。ルールを確認した後、入力やカメラ機能について遊びながら学習した。それにより、機器を丁寧に扱ったり、時間を決めたりするなど、約束を守る姿が身についた。

学校名	校内研修は計画通りに進んでいますか。	その理由は何ですか。	校内研修で一番やってよかった（効果があった）取組を記入してください。	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
石川県立七尾特別支援学校珠洲分校	まあまあ進んでいる	タブレット端末を活用して教師間の情報交換や教材準備の簡略化、共有化、そして校外研修・オンライン研修時の活用など教員の意識は変わってきているが、授業実践の場面については各学部で隔たりがある。小学部・中学部の児童生徒の実態から、各種アプリを国語・数学などの教科学習の場面で活用する場面が多く、生徒自身がgoogleアカウントを活用した活動はあまり進んでいない。また、高等部ではgoogleのアプリなどを中心に活用して、googleドライブやjamboardなどで互いに情報を共有したり、動画編集や発表ツールとしての活用などICT機器を活用する場面が増えてきている。	googleの諸機能をGIGAスクール推進教材動画を視聴しながら研修した際、Googleドライブに保存した資料を共有したり、PC・タブレット端末ともに編集・保存できることで、教員の教材準備や生徒との教材の送付・返却などの動きがスムーズにできることは、多くの教員から利便性を感じられると評価された。 また、生徒の学習活動でできた制作物を写真保存し、次の学習に活かせたり、他の教科での活用でも役立つことが教員間で確認することができた。	コロナ禍のため、全校集会や全校行事が実施が難しい際に、zoomを活用してオンライン中継をすることで、他学部の児童生徒との交流や一体感の醸成につながった。	高等部の国語の授業の際、「好きな本を紹介しよう」という単元で、自分の好きな本を紹介する際、本を持って紹介するのではなく、googleのスライドアプリを使って好きな場面の写真やタイトル、見どころなどを編集した原稿スライドを作った。そして、それを活用して中学部の生徒に発表することで、見どころや注目してほしいところをズームしたり、文字の色をかえたりすることで、見やすく、聴きやすい発表をすることができた。 発表を聞いた中学部の生徒や教諭から本を持って説明・発表するよりも、「テレビ画面にスライドを映して発表してくれたおかげで見やすかった」とコメントをもらえて、高等部の発表者も発表することに意欲的に取り組むことができた。
石川県立医王特別支援学校	まあまあ進んでいる	実情に即した無理のない取り組み	外部講師による研修会で、オンラインに関わるiPadや周辺機器の操作方法についてレクチャーを受け、合同活動やオンライン研修会で活用できた。	授業に必要なデータをドライブに保存することで、共有と活用がしやすくなった。	Wi-Fi環境のない病院内で、iPadの活用がスムーズにできるようになって、別室や別棟の児童生徒、本校の児童生徒、また保護者や地域の人とも簡単に会える喜びを感じられるようになった。